

ESMPRO/ServerManager Ver. 6

ユーザーズガイド

コマンドラインインターフェース

1章 コマンドラインインターフェースについて

2章 コマンドライン一覧

目次

| | |
|---|----|
| 目次 | 1 |
| 商標について | 4 |
| 本書について | 5 |
| 第 1 章 コマンドラインインターフェースについて | 6 |
| 1.1 動作環境 | 7 |
| 1.2 実行方法 | 8 |
| 1.2.1 コマンド実行時の注意事項 | 8 |
| 1.3 実行結果 | 9 |
| 1.4 実行例 | 9 |
| 1.5 複数の ESM/ServerManager からのコマンド利用について | 9 |
| 第 2 章 コマンド一覧 | 10 |
| 2.1 グループ管理系コマンド | 10 |
| 2.1.1 getList | 10 |
| 2.1.2 createGroup | 12 |
| 2.1.3 deleteGroup | 12 |
| 2.1.4 moveGroup | 12 |
| 2.1.5 setGroupProperty | 13 |
| 2.1.6 getGroupProperty | 13 |
| 2.1.7 getGroupStatus | 14 |
| 2.1.8 groupPowerOn | 15 |
| 2.1.9 groupPowerOff | 16 |
| 2.1.10 groupReset | 17 |
| 2.1.11 groupPowerCycle | 18 |
| 2.1.12 groupShutdownOs | 19 |
| 2.1.13 groupSetPowerRestoreDelay | 20 |
| 2.1.14 groupGetRemoteKvmLicense | 21 |
| 2.2 コンポーネント管理系コマンド | 22 |
| 2.2.1 getServerList | 22 |
| 2.2.2 getServerNameByMacAddr | 23 |
| 2.2.3 getServerNameByGuid | 23 |
| 2.2.4 findNewServer | 24 |
| 2.2.5 findNewServerNetAddr | 25 |
| 2.2.6 createServer | 26 |
| 2.2.7 deleteServer | 26 |
| 2.2.8 checkConnection | 27 |
| 2.2.9 setServerProperty | 27 |
| 2.2.10 moveServer | 29 |
| 2.2.11 getServerGroup | 29 |
| 2.2.12 setCurrentPort | 30 |
| 2.2.13 getServerProperty | 30 |
| 2.2.14 getServerInfo | 31 |
| 2.2.15 getDeviceId | 32 |
| 2.2.16 getGuid | 32 |
| 2.2.17 getProductName | 33 |
| 2.2.18 getSoftwareInfo | 33 |
| 2.2.19 setShutdownPolicy | 34 |
| 2.2.20 getShutdownPolicy | 35 |
| 2.2.21 setPowerRestoreDelay | 36 |
| 2.2.22 getPowerRestoreDelay | 37 |
| 2.2.23 setBmcInfo | 38 |

| | | |
|--------|-----------------------------|----|
| 2.2.24 | getBmcInfo | 47 |
| 2.2.25 | setAuthKey | 48 |
| 2.2.26 | setSensorLevel | 49 |
| 2.2.27 | getSensorLevel | 54 |
| 2.2.28 | getAgentExtensionLog | 55 |
| 2.2.29 | testAlert | 56 |
| 2.2.30 | getTestAlertStatus | 57 |
| 2.2.31 | getServerStatus | 58 |
| 2.2.32 | getPowerStatus | 59 |
| 2.2.33 | getStatusLamp | 59 |
| 2.2.34 | getPanelInfo | 60 |
| 2.2.35 | powerOn | 61 |
| 2.2.36 | powerOff | 62 |
| 2.2.37 | reset | 62 |
| 2.2.38 | powerCycle | 63 |
| 2.2.39 | shutdownOs | 64 |
| 2.2.40 | dumpSwitch | 64 |
| 2.2.41 | clearSel | 65 |
| 2.2.42 | identifyChassis | 65 |
| 2.2.43 | getIpmiInfo | 66 |
| 2.2.44 | getSensorList | 67 |
| 2.2.45 | getSensorStatus | 68 |
| 2.2.46 | getConsoleLog | 69 |
| 2.2.47 | setBmcIpSync | 69 |
| 2.2.48 | getBmcIpSync | 70 |
| 2.2.49 | getBladeSlotId | 70 |
| 2.2.50 | deleteBmcUser | 71 |
| 2.2.51 | getBmcUserList | 71 |
| 2.2.52 | setBmcUserInfo | 72 |
| 2.2.53 | getBmcUserInfo | 73 |
| 2.2.54 | setPowerRestorePolicy | 74 |
| 2.2.55 | getPowerRestorePolicy | 74 |
| 2.2.56 | getSystemFtLamp | 75 |
| 2.3 | EM カード管理系コマンド | 76 |
| 2.3.1 | getEmCardList | 76 |
| 2.3.2 | getEmActiveState | 77 |
| 2.3.3 | identifyEm | 77 |
| 2.3.4 | getEmStatusLamp | 78 |
| 2.4 | 筐体管理系コマンド | 79 |
| 2.4.1 | getBladeEnclosureList | 79 |
| 2.4.2 | getChassisSlotState | 79 |
| 2.4.3 | getChassisInfo | 80 |
| 2.4.4 | setChassisProperty | 81 |
| 2.4.5 | getChassisProperty | 81 |
| 2.4.6 | setBladeAutoSetting | 82 |
| 2.4.7 | getBladeAutoSetting | 83 |
| 2.5 | 通信管理系コマンド | 84 |
| 2.5.1 | connect | 84 |
| 2.5.2 | disconnect | 84 |
| 2.5.3 | getConnectionStatus | 84 |
| 2.6 | 環境設定系コマンド | 85 |
| 2.6.1 | setOption | 85 |
| 2.6.2 | getOption | 86 |
| 2.6.3 | getPermitIpAddrList | 86 |
| 2.6.4 | isPermitIpAddr | 86 |

| | | |
|-------|-----------------------------------|----|
| 2.6.5 | addPermitIpAddr | 87 |
| 2.6.6 | removePermitIpAddr | 87 |
| 2.6.7 | clearPermitIpAddr | 87 |
| 2.7 | ユーザ管理系コマンド | 88 |
| 2.7.1 | createUser | 88 |
| 2.7.2 | deleteUser | 88 |
| 2.7.3 | getUserList | 88 |
| 2.7.4 | setUserProperty | 89 |
| 2.7.5 | getUserProperty | 90 |
| 2.8 | その他のコマンド | 91 |
| 2.8.1 | getApplicationLog | 91 |
| 2.8.2 | about | 91 |
| 2.8.3 | help | 91 |
| 付録 A | BMC（その他）および iLO のサポートコマンド一覧 | 92 |

商標について

EXPRESSBUILDER と ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

Windows Server 2012 R2 は、Windows Server® 2012 R2 Standard、Windows Server® 2012 R2 Datacenter の略称です。

Windows Server 2012 は、Windows Server® 2012 Standard、および Windows Server® 2012 Datacenter の略称です。

Windows Server® 2008 R2 は、Windows Server® 2008 R2, Standard、Windows Server® 2008 R2, Enterprise、および Windows Server® 2008 R2, Datacenter の略称です。

Windows Server 2008 は、Windows Server® 2008 Standard、Windows Server® 2008 Enterprise、Windows Server® 2008 Datacenter、および Windows Server® 2008 Foundation の略称です。

Windows 8.1 は、Windows® 8.1 Pro 64-bit Edition、Windows® 8.1 Pro 32-bit Edition、Windows® 8.1 Enterprise 64-bit Edition、および Windows® 8.1 Enterprise 32-bit Edition の略称です。

Windows 8 は、Windows® 8 Pro、および Windows® 8 Enterprise の略称です。

Windows 7 は、Windows® 7 Professional、および Windows® 7 Ultimate の略称です。

Windows Vista は、Windows Vista® Business、Windows Vista® Enterprise、および Windows Vista® Ultimate の略称です。

Windows XP は、Windows® XP Professional operating system、および Windows® XP Professional x64 Edition operating system の略称です。

■ ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については (4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

本書では、コンポーネント管理ユーティリティ「ESMPRO/ServerManager」のコマンドラインインターフェースを説明しています。

コマンドラインインターフェースをご使用になる前に本書をよくお読みになり、ユーティリティを正しくお使いになるようお願い申し上げます。

■ ご注意

本書での内容は、対象 OS の機能や操作方法およびネットワークの機能や設定方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。対象 OS に関する操作や不明点については、各 OS のオンラインヘルプなどを参照してください。

本書では、コンポーネント全般について、汎用的に説明しています。コンポーネントの製品別の注意事項や制限事項は、コンポーネントに添付されているユーザズガイドまたは以下の URL を参照してください。

<http://jpn.nec.com/esmsm/>

本書に掲載されている画面イメージ上に記載されている名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。また、画面イメージ上の設定値は例であり、IP アドレスなどの設定値についての動作保証を行うものではありません。

■ 本書中の記号について

本文中では次の 3 種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。

| | |
|--------------|---|
| 重要： | ソフトウェアや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。 |
| チェック： | ソフトウェアや装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。 |
| ヒント： | 知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。 |

■ 本書中の書体について

本文中で使用している *イタリック体* はコマンドのオプションを示します。

■ ESMPRO/ServerManager のその他の説明について

本書に記載されていない、ESMPRO/ServerManager のその他の説明については、以下の文書を参照してください。

- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド (Windows 編)
- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド (Linux 編)
- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイド
- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.6 コマンドラインインターフェース ユーザズガイド
ExpressUpdate 管理編

第1章 コマンドラインインターフェースについて

ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースは ESMPRO/ServerManager が動作している装置上からコマンドラインによってコンポーネントの制御を行うことができるコマンドセットを提供します。

コマンドセットは Web ブラウザを利用して実行できる機能の一部をカバーしています。

.....
チェック：

- コマンドセットは、主にコンポーネント上の BMC または ESMPRO/ServerAgent Extension と通信して実現する機能を実行できます。コンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent または ESMPRO/ServerAgentService を必要とする機能はサポートしていません。
 - BMC（その他）および iLO に対してはサポートしていないコマンドセットがあります。詳細は付録 A BMC（その他）および iLO のサポートコマンド一覧を参照してください。
 - コマンドセットを、Chassis Sensor Card に対して実行しないでください。
コマンドセットは、Chassis Sensor Card に対するコマンド実行をサポートしていません。
Chassis Sensor Card が所属するグループに対してグループ管理系コマンドを実行する場合は、"/exs"オプションを使って Chassis Sensor Card にコマンドを発行しないようにしてください。
-

以下のコマンドがあります。

- **グループ管理系コマンド**
複数のコンポーネントを一括管理するためのグループに関するコマンドです。
- **コンポーネント管理系コマンド**
リモート管理対象のコンポーネントに関するコマンドです。
- **EM カード管理系コマンド**
EM カードに関するコマンドです。
- **筐体管理系コマンド**
リモート管理対象のコンポーネントまたはEM カードを搭載している筐体に関するコマンドです。
- **通信管理系コマンド**
ESMPRO/ServerManager の設定を参照したり変更したりします。
- **環境設定系コマンド**
ESMPRO/ServerManager の設定を参照したり変更したりします。
- **ユーザ管理系コマンド**
Web ブラウザ上で ESMPRO/ServerManager を使用するユーザを管理します。
- **その他のコマンド**
その他のコマンドです。

1.1 動作環境

ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースは、ESMPRO/ServerManager が動作している管理 PC 上でのみ実行可能です。

ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースを実行するためには、OS の管理者権限が必要です。

Windows の場合：Administrator 権限

Linux の場合：root 権限

チェック：

- Windows Vista/Windows 7/Windows 8/ Windows 8.1/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 では、コマンドラインインターフェース実行ファイル(dscli.exe)を含むディレクトリのアクセス許可を取得する必要があります。ディレクトリのアクセス許可を取得すると、標準ユーザも CLI を実行可能になります。
-

ヒント：

- ESMPRO/ServerManager の動作環境については「ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド」を参照してください。
-

1.2 実行方法

OS のコマンドプロンプトから以下のように入力することで、コマンドの実行を行います。

```
dscli CommandName [Option, ...]
```

| | |
|--------------------|--|
| dscli | ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースのコマンドであることを示します。 |
| CommandName | 実行したいコマンド名を入力します。 |
| Option | 各コマンドで定められているオプションパラメータを入力します。 |

1.2.1 コマンド実行時の注意事項

以下にコマンドを入力するときの注意事項を示します。

(1) 特殊文字を入力する場合

オプションに空文字列を入力する場合や、&などの特殊文字を入力する場合は、入力文字列をダブルコーテーションで囲ってください。入力例を示します。

例 1:空文字列の入力

```
dscli setGroupProperty MyGroup GROUP_COMMENT ""
```

例 2:特殊文字の入力

```
dscli setServerProperty MyServer CFG_SERIAL_INIT "ATE1Q0V1X4&D2&C1S0=0"
```

(2) MAC アドレスを入力する場合

コマンドのオプションにある「Server」で指定できる MAC アドレスとは、コンポーネント上の BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレスです。MAC アドレスを入力する場合は、各オクテットをコロンで区切った 16 進数で入力してください。入力例を示します。

```
dscli getServerProperty 00:30:13:16:cd:fe SERVER_IP_1
```

(3) GUID を入力する場合

GUID を入力する場合は、各セクションをコロンで区切った 16 進数で入力してください。入力例を示します。

```
dscli getServerProperty 80c03228:35d8:d711:8001:003013f10072 SERVER_IP_1
```

.....
チェック：

- コマンドの「Server」オプションで MAC アドレスまたは GUID を指定する入力方法は接続チェック実施後に利用可能になります。
-

1.3 実行結果

すべてのコマンドは終了ステータスを返します。またエラーが発生した場合は、エラーメッセージを返します。

すべてのコマンドの終了ステータスは以下の通りとなっています。

0 : 正常終了

0 以外 : 異常終了

各コマンドでエラーが発生した場合、終了ステータスとして 0 以外の値が返され、エラーメッセージが表示されます。またメッセージによってはエラー要因メッセージが後に続きます。

.....
ヒント :

- シェルスクリプトでコマンドを実行する場合、Windows では「ERRORLEVEL」、Linux では「\$?」で終了ステータスを確認できます。
-

1.4 実行例

1 台のコンポーネントを LAN 経由で管理するためのコマンド発行手順を示します。

- (1) createGroup で グループを作成します。
- (2) createServer で コンポーネントを登録します。
- (3) checkConnection でコンポーネントの接続チェックを行います。

接続チェックが正常終了すると、ESMPRO/ServerManager でコンポーネントをリモート管理できるようになります。

1.5 複数の ESMPRO/ServerManager からのコマンド利用について

1 台のコンポーネントを複数の ESMPRO/ServerManager でリモート管理可能なのと同じく、複数の Manager サーバからコマンドの発行も可能です。

.....
重要 :

- 注意事項に関しましては「ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド」の「複数の ESMPRO/ServerManager の利用について」を参照してください。
-

第2章 コマンド一覧

2.1 グループ管理系コマンド

2.1.1 getList

Syntax:

`dscli getList GroupName [/g] [/x]`

Description:

指定されたグループ下に登録されているグループとコンポーネントの一覧を表示します。
付加オプションを指定しない場合は、グループ直下のグループとコンポーネントを表示します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルートに存在するグループとコンポーネントについて表示する場合は”root”と指定します。

/g

“/g”オプションを指定すると、グループ名だけを表示します。

/x

“/x”オプションを指定すると、指定されたグループおよびサブグループ下の一覧を表示します。

Output:

コンポーネント・グループが以下の構成の場合の表示例を示します。

```
root
├── group1 <GROUP>
│   ├── group11 <GROUP>
│   │   └── componet111
│   └── componet11
├── group2 <GROUP>
├── component1
├── group3 <GROUP>
│   ├── group31 <GROUP>
│   │   └── componet311
│   ├── componet31
│   ├── componet32
│   └── group32 <GROUP>
│       ├── componet321
│       └── componet322
├── component2
└── component3
```

オプションを指定しなかった場合の表示例を示します。

```
>dscli getList root
  group1 <GROUP>
  group2 <GROUP>
  component1
  group3 <GROUP>
  component2
  component3
```

“/g”オプションを指定した場合の表示例を示します。

```
>dscli getList root /g
  group1 <GROUP>
  group2 <GROUP>
  group3 <GROUP>
```

“/x”オプションを指定した場合の表示例を示します。

```
>dscli getList root /x
root
  group1 <GROUP>
    group11 <GROUP>
      component111
    component11
  group2 <GROUP>
  component1
  group3 <GROUP>
    group31 <GROUP>
      component311
    component31
    component32
    group32 <GROUP>
      component321
      component322
  component2
  component3
```

“/g”オプションと“/x”オプションを指定した場合の表示例を示します。

```
>dscli getList root /g /x
root
  group1 <GROUP>
    group11 <GROUP>
  group2 <GROUP>
  group3 <GROUP>
    group31 <GROUP>
    group32 <GROUP>
```

2.1.2 createGroup

Syntax:

```
dscli createGroup GroupName [ParentGroupName]
```

Description:

新しいグループを作成します。

Options:

GroupName

作成するグループの名前を指定します。
最大 63 文字までの名前を入力できます。

ParentGroupName

グループの下にグループを作成する場合、親グループの名前を指定します。
ルートに作成する場合は、このオプションを指定しないか、”root”と指定します。

.....
ヒント :

- *GroupName* に既に登録されているグループの名前は指定できません。
-

2.1.3 deleteGroup

Syntax:

```
dscli deleteGroup GroupName
```

Description:

指定されたグループを削除します。グループに所属するコンポーネント、およびサブグループもすべて削除します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

2.1.4 moveGroup

Syntax:

```
dscli moveGroup GroupName [ParentGroupName]
```

Description:

グループを移動します。グループに所属するコンポーネント、およびサブグループもすべて移動します。

Options:

GroupName

移動したいグループの名前を指定します。

ParentGroupName

移動先の親グループの名前を指定します。
ルート下に移動する場合は、このオプションを指定しないか、”root”と指定します。

2.1.5 setGroupProperty

Syntax:

```
dscli setGroupProperty GroupName PropertyName Value
```

Description:

指定されたグループのグループプロパティを設定します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

PropertyName

設定するプロパティの名前を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| PropertyName | 意味 | Value | 初期値 |
|---------------|---------------|----------|------|
| GROUP_NAME | グループ名です。 | 63 文字まで | (なし) |
| GROUP_COMMENT | グループに関する説明です。 | 255 文字まで | (なし) |

.....
ヒント:

- GROUP_NAME に既に登録されているグループ名は指定できません。
-

2.1.6 getGroupProperty

Syntax:

```
dscli getGroupProperty GroupName PropertyName
```

Description:

指定されたグループのグループプロパティを表示します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

PropertyName

取得するプロパティの名前を指定します。グループプロパティの一覧については2.1.5 setGroupPropertyを参照してください。

Output:

指定されたグループプロパティを表示します。

2.1.7 getGroupStatus

Syntax:

```
dscli getGroupStatus GroupName
```

Description:

指定されたグループの状態を表示します。グループ下のすべてのコンポーネント状態のうち、もっとも悪い状態をグループの状態として表示します。

コンポーネント監視機能で、コンポーネントの状態を確認します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

Output:

指定されたグループの状態を表示します。状態には以下の種類があります。

| | |
|---------------|----------|
| ERROR | 異常 |
| WARNING | 警告 |
| UNKNOWN | 不明、通信エラー |
| DC-OFF | DC-OFF |
| NORMAL | 正常 |
| NO_MONITORING | 監視対象外 |

2.1.8 groupPowerOn

Syntax:

```
dscli groupPowerOn GroupName [/p] [/exs ComponentName1 ComponentName2 ...  
ComponentNameN] [/exg GroupName1 GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネントの電源を ON にします。
サブグループ下のコンポーネントも制御します。

重要：

- コンポーネントが強制ネットワークブート機能(ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能)をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。

チェック：

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、“root”と指定します。

/p

“/p”を指定すると、電源 ON 後、ネットワークブートを行います。

/exs

“/exs”オプションを指定し、その後に続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

/exg

“/exg”オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。
表示例を示します。

| |
|--|
| Component1 |
| : Connection to the server could not be made. (Timeout) |
| Component2 |
| : Connection to the server could not be made. (Authentication error) |

2.1.9 groupPowerOff

Syntax:

```
dscli groupPowerOff GroupName [/exs ComponentName1 ComponentName2 ...  
ComponentNameN] [/exg GroupName1 GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネントの電源を強制的に OFF にします。
サブグループ下のコンポーネントも制御します。

重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。

チェック：

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、"root"と指定します。

/exs

"/exs"オプションを指定し、その後に続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

/exg

"/exg"オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。
表示例を示します。

| | |
|------------|--|
| Component1 | : Connection to the server could not be made. (Timeout) |
| Component2 | : Connection to the server could not be made. (Authentication error) |

2.1.10 groupReset

Syntax:

```
dscli groupReset GroupName [/p] [/exs ComponentName1 ComponentName2 ...  
ComponentNameN] [/exg GroupName1 GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネントを強制的にリセットします。
サブグループ下のコンポーネントも制御します。

重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
- コンポーネントが強制ネットワークブート機能（ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能）をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。

チェック：

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、“root”と指定します。

/p

“/p”を指定すると、リセット後、ネットワークブートを行います。

/exs

“/exs”オプションを指定し、その後に続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

/exg

“/exg”オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。
表示例を示します。

```
Component1  
  : Connection to the server could not be made. (Timeout)  
Component2  
  : Connection to the server could not be made. (Authentication error)
```

2.1.11 groupPowerCycle

Syntax:

```
dscli groupPowerCycle GroupName [/p] [/exs ComponentName1 ComponentName2 ...  
ComponentNameN] [/exg GroupName1 GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネントの電源を強制的に OFF にした後、ON にします。サブグループ下のコンポーネントも制御します。

重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
- コンポーネントが強制ネットワークブート機能（ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能）をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。

チェック：

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、“root”と指定します。

/p

“/p”を指定すると、電源 ON 後、ネットワークブートを行います。

/exs

“/exs”オプションを指定し、その後に続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

/exg

“/exg”オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。表示例を示します。

| |
|--|
| Component1 |
| : Connection to the server could not be made. (Timeout) |
| Component2 |
| : Connection to the server could not be made. (Authentication error) |

2.1.12 groupShutdownOs

Syntax:

```
dscli groupShutdownOs GroupName [/force] [/exs ComponentName1  
ComponentName2 ... ComponentNameN] [/exg GroupName1 GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネント上の OS をシャットダウンします。
サブグループ下のコンポーネントも制御します。

LAN 経由で実行する場合は、コンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに実行できます。

“/force”オプションを指定した場合は、接続形態に関わらず、強制シャットダウンを行います。このとき ESMPRO/ServerAgent Extension とは通信を行いません。

ダイレクト接続またはモデム接続では、“/force”オプション指定時のみ実行できます。

チェック:

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。
-

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、“root”と指定します。

/force

“/force”を指定すると、強制シャットダウンを実行します。OS の種類や設定によっては正しくシャットダウンされない可能性があります。

/exs

“/exs”オプションを指定し、その後に続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

/exg

“/exg”オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。
表示例を示します。

| | |
|------------|--|
| Component1 | : Connection to the server could not be made. (Timeout) |
| Component2 | : Connection to the server could not be made. (Authentication error) |

2.1.13 groupSetPowerRestoreDelay

Syntax:

```
dscli groupSetPowerRestoreDelay GroupName DelayTime [/x Policy] [/exs  
ComponentName1 ComponentName2 ... ComponentNameN] [/exg GroupName1  
GroupName2 ... GroupNameN]
```

Description:

指定されたグループに所属するすべてのコンポーネントについて、コンポーネントが AC ON されたときの動作を指定する電源オプション設定を変更します。

サブグループ下のコンポーネントも制御します。

電源オプション設定では、AC-LINK 設定、および、AC-LINK 設定が AC ON 時に連動して電源 ON(DC ON)する設定になっているときの AC ON から DC ON までの間隔を指定できます。

重要:

- コンポーネントが電源オプション設定機能をサポートしていない場合は実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。

チェック:

- このコマンドは電源ベイ、EM カード、スイッチブレードに対しては実行されません。
- EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載ブレードサーバに対しては、指定された遅延時間の設定を行いません。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを制御したい場合、“root”と指定します。

DelayTime

| | |
|---------|---|
| AAA~600 | AC ON から DC ON までの間隔を秒単位で指定します。 ※AAA はコンポーネントの設定可能最小値 |
| -1 | AC ON から DC ON までの間隔を変更しないときに指定します。 |
| RANDOM | AC ON から DC ON までの間隔をランダムに指定します。 ※ランダム設定機能をサポートしているコンポーネントの場合、ランダムを指定できます。 |

/x Policy

AC-LINK を設定します。Policy に設定可能な値は 3 種類です。

| | |
|------------|--|
| STAY_OFF | AC ON 時、DC OFF 状態になります。 |
| LAST_STATE | DC OFF 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DC OFF 状態になります。 DC ON 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DelayTime オプションで設定された時間後に DC ON 状態になります。 |
| POWER_ON | AC ON 時、DelayTime オプションで設定された時間後に DC ON 状態になります。 |

"/exs"

“/exs”オプションを指定し、その後続けてコンポーネント名を指定すると、指定されたコンポーネントに対してコマンドを発行しません。コンポーネント名は複数指定することができます。

"/exg"

"/exg"オプションを指定し、その後に続けてグループ名を指定すると、指定されたグループ下のコンポーネントに対してコマンドを発行しません。グループは複数指定することができます。

Output:

エラーが発生した各コンポーネントについてコンポーネント名とエラーメッセージを出力します。表示例を示します。

```
Component1
    : Connection to the server could not be made. (Timeout)
Component2
    : Connection to the server could not be made. (Authentication error)
```

2.1.14 groupGetRemoteKvmLicense

Syntax:

dscli groupGetRemoteKvmLicense *GroupName*

Description:

指定されたグループに所属する各コンポーネントについて、リモートマネージメント拡張ライセンスの登録状況を表示します。

サブグループ下のコンポーネントについても表示します。

Options:

GroupName

グループの名前を指定します。

ルート下のすべてのコンポーネントを表示したい場合、"root"と指定します。

Output:

各コンポーネントについて、リモートマネージメント拡張ライセンスの登録状況を以下のように表示します。

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| Installed | リモートマネージメント拡張ライセンスが登録されています。 |
| Not Installed | リモートマネージメント拡張ライセンスが登録されていません。 |
| Unsupported | リモートマネージメント拡張ライセンスの対象ではありません。 |
| - | リモートマネージメント拡張ライセンスの登録状況を取得できませんでした。 |

表示例を示します。

```
Component1
    : Installed
Component2
    : Installed
Component3
    : Not Installed
Component4
    : Unsupported
Component5
    : -
:
:
```

2.2 コンポーネント管理系コマンド

2.2.1 getServerList

Syntax:

```
dscli getServerList [/d]
```

Description:

ESMPRO/ServerManager 上に登録されたコンポーネントの一覧を表示します。

Options:

/d

“/d”を指定すると、コンポーネントの一覧に、コンポーネント名その他 GUID、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレスを表示します。また、以下の付加情報を表示します。

- BMC が EXPRESSSCOPE エンジンシリーズ の場合「EXPRESSSCOPE Engine」と表示します。
- コンポーネント上の BMC がアドバンスドリモートマネジメントカードの場合「ARMC」と表示します。
- 管理対象が Switch Blade である場合 「SWB」 と表示します。

Output:

ESMPRO/ServerManager 上に登録されたコンポーネントの一覧を表示します。表示例を示します。

(“/d”オプションを指定しない場合)

```
Component1
Component2
Component3
:
:
```

(“/d”オプションを指定した場合)

```
Component1
GUID  02010202:0000:0000:0000:000000000000
MAC1  00:30:13:f1:00:5a
MAC2  00:30:13:f1:00:5b
EXPRESSSCOPE Engine

Component2
GUID  00301316:cdfe:0180:0010:846e8062d906
MAC1  00:30:13:16:cd:fe
SWB

Component3
GUID  00010203:0405:0607:0809:0a0b0c0d0e0f
MAC1  00:00:4c:9f:13:cb
ARMC
:
:
```

2.2.2 getServerNameByMacAddr

Syntax:

```
dscli getServerNameByMacAddr MacAddress
```

Description:

指定された MAC アドレスに対応するコンポーネント名を表示します。

Options:

MacAddress

コンポーネント上の BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレスを指定します。

実行例を示します。

```
dscli getServerNameByMacAddr 00:30:13:f1:00:5a
```

Output:

コンポーネント名を表示します。表示例を示します。

```
Component1
```

2.2.3 getServerNameByGuid

Syntax:

```
dscli getServerNameByGuid GUID
```

Description:

指定された GUID に対応するコンポーネント名を表示します。

Options:

GUID

GUID を指定します。

実行例を示します。

```
dscli getServerNameByGuid 00301316:cdfe:0180:0010:846e8062d906
```

Output:

コンポーネント名を表示します。表示例を示します。

```
Component2
```


2.2.4 findNewServer

Syntax:

`dscli findNewServer StartIpAddress EndIpAddress`

Description:

ESMPRO/ServerManager 上に登録されていないコンポーネントの BMC をネットワーク上から検索します。指定された IP アドレス範囲のコンポーネント(BMC)を検索します。

ヒント :

- `findNewServer`、`findNewServerNetAddr` で見つかったコンポーネントを ESMPRO/ServerManager に登録する場合、`createServer` を使用します。2.2.6 `createServer`を参照してください。

Options:

StartIpAddress

IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを指定します。

EndIpAddress

IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを指定します。

Output:

発見したコンポーネントの一覧を表示します。表示例を示します。

```
Status: SUCCESS

No. 1
1st IP Address      : 192.168.14.18
2nd IP Address      : 0.0.0.0
Current IP Address   : 192.168.14.18
IPMI Version         : 1.5
GUID                 : 84ee20b0:84a1:d511:0080:a0ff94470300

No. 2
1st IP Address      : 192.168.14.19
2nd IP Address      : 0.0.0.0
Current IP Address   : 192.168.14.19
IPMI Version         : 1.5
GUID                 : 00004c79:45c0:0180:0010:f57f80d8cef8
:
:
```

2.2.5 findNewServerNetAddr

Syntax:

```
dscli findNewServerNetAddr NetAddr NetMask
```

Description:

ESMPRO/ServerManager 上に登録されていないコンポーネントの BMC をネットワーク上から検索して表示します。指定されたネットワークアドレスによりコンポーネントを検索します。

ヒント :

- findNewServer 、 findNewServerNetAddr で見つかったコンポーネントを ESMPRO/ServerManager に登録する場合、createServer を使用します。2.2.6 createServerを参照してください。
-

Options:

NetAddr

ネットワークアドレスを指定します。

NetMask

ネットワークマスクを指定します。

Output:

発見したコンポーネント一覧を表示します。表示内容は findNewServer と同じです。2.2.4 findNewServerを参照してください。

2.2.6 createServer

Syntax:

```
dscli createServer ComponentName GroupName AuthKey [IpAddr1] [IpAddr2]
```

Description:

ESMPRO/ServerManager に新規にコンポーネントを登録します。

Options:

ComponentName

ESMPRO/ServerManager 上でコンポーネントを管理するための名前（コンポーネント名）を指定します。

最大 63 バイトまでの名前を入力できます。

GroupName

コンポーネントの所属グループを指定します。

AuthKey

コンポーネントの認証キーを指定します。16 文字までの認証キーを指定してください。

コンポーネントの BMC コンフィグレーションで設定した認証キーを入力してください。

IpAddr1

コンポーネントの BMC の IP アドレスを指定します。コンポーネントと LAN 経由で通信しない場合、このオプションは省略できます。

IpAddr2

コンポーネントの BMC の予備の IP アドレスを指定します。このオプションは省略できます。

.....
ヒント :

- *ServerName* に既に登録されているコンポーネントの名前は指定できません。
 - *IpAddr1*、*IpAddr2* に既に登録されている IP アドレスは指定できません。
 - プロパティのその他の項目は、2.2.9 *setServerProperty* で設定してください。
-

2.2.7 deleteServer

Syntax:

```
dscli deleteServer Component [/force]
```

Description:

ESMPRO/ServerManager に登録されたコンポーネントを削除します。

Options:

Server

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/force

スケジュール運転設定済みのコンポーネントを削除するときは、ESMPRO/ServerAgent Extension からスケジュールを削除しますが、スケジュール削除に失敗した場合 (ESMPRO/ServerAgent Extension がアンインストールされている等) は、コンポーネントを削除できません。このとき、“/force”を指定すると、コンポーネントを強制的に削除します。

2.2.8 checkConnection

Syntax:

```
dscli checkConnection Component [/force]
```

Description:

コンポーネントの BMC と通信して接続確認を行います。また、リモート管理のために必要な情報をコンポーネントから収集します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/force

コンポーネントを置き換えた場合は"/force"を指定して接続確認を行ってください。

チェック：

- ESMPRO/Server Manager がコンポーネントの EMSPRO も管理している場合、"/force"を指定すると、ESMPRO 通信と BMC 通信で異なるコンポーネントに通信することがあります。

2.2.9 setServerProperty

Syntax:

```
dscli setServerProperty Component PropertyName Value
```

Description:

プロパティを変更します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

PropertyName

設定するプロパティの名前を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| PropertyName | 意味 | Value | 初期値 |
|--------------------|--|----------------|-----|
| CONSOLE_LOG_ENABLE | コンソールログ取得の有効／無効を示します。コンソールログは、リモートコンソールの画面データをテキスト形式で保存する機能です。 | 0: 無効 1: 有効 | 1 |
| CONSOLE_LOG_SIZE | コンソールログの最大容量を KB 単位で指定します。 | 4-1000 | 64 |

| PropertyName | 意味 | Value | 初期値 |
|--------------------------------------|---|------------------------------|---------------|
| CONSOLE_LOG_KEEP_CONNECTION | Web ブラウザでリモートコンソールを開いていない時でもコンソールログ取得を行う機能の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 |
| CONSOLE_LOG_FAULT_MESSAGE_MONITORING | コンソールログに対する障害メッセージ監視の有効／無効を示します。障害メッセージ監視は、コンソールログに記録される各行の先頭に障害メッセージ識別子が検出された場合に、そのコンポーネントの障害状態をセットする機能です。 | 0: 無効 1: 有効 | 1 |
| CONSOLE_LOG_FAULT_MESSAGE_IDENTIFIER | 障害メッセージ監視のための文字列（障害メッセージ識別子）を指定します。 | 20 文字まで | </BP> |
| SERVER_NAME *1 | コンポーネントの表示名です。 | 63 バイトまで | (なし) |
| SERVER_AUTHKEY *1 | コンポーネントの BMC と通信するための認証キーです。 | 16 文字まで | (なし) |
| SERVER_CURRENT_PORT_TYPE | ESMPRO/ServerManager からコンポーネントへの通信の接続形態を指定します。EM カードの場合、LAN 以外は指定できません。 | 0: LAN 1: ダイレクト 2: モデム | 0 |
| SERVER_IP_1 *1 | LAN 接続のための BMC IP アドレスです。 | IP アドレス形式 | 0.0.0.0 |
| SERVER_IP_2 | LAN 接続のための予備の BMC IP アドレスです | IP アドレス形式 | 0.0.0.0 |
| SERVER_CURRENT_IP *1 | LAN 接続のための現在使用中の BMC IP アドレスです。 | IP アドレス形式 | 0.0.0.0 |
| SERVER_SUBNETMASK_1 *1 | LAN 接続の BMC IP アドレスのサブネットマスクです。 | IP アドレス形式 | 255.255.255.0 |
| SERVER_SUBNETMASK_2 | LAN 接続の予備の BMC IP アドレスのサブネットマスクです | IP アドレス形式 | 255.255.255.0 |
| SERVER_PHONE_NUMBER | モデム接続を行うための電話番号です。 | 19 文字まで | 空白 |
| SERVER_ALIAS *1 | コンポーネントの別名です。 | 255 バイトまで | (コンポーネント名と同じ) |

*1 EM カードに対しても設定可能なプロパティです。

.....
ヒント:

- SERVER_NAME に既に登録されているコンポーネントの名前は指定できません。
 - SERVER_IP_1、SERVER_IP_2 に既に登録されている IP アドレスは指定できません。
 - コンポーネントが所属するグループを変更する場合は 2.2.10 moveServer を使用してください。
-

2.2.10 moveServer

Syntax:

```
dscli moveServer Component GroupName
```

Description:

コンポーネントの所属グループを変更します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

GroupName

新しいグループの名前を指定します。

ルート下に移動する場合は、”root”と指定します。

2.2.11 getServerGroup

Syntax:

```
dscli getServerGroup Component
```

Description:

コンポーネントが所属するグループ名を表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

コンポーネントが所属するグループ名を表示します。

ルートに存在する場合は”root”と表示します。

2.2.12 setCurrentPort

Syntax:

`dscli setCurrentPort Component Connection`

Description:

コンポーネントとの接続形態を変更します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Connection

コンポーネントと通信を行う接続形態を指定します。

| | |
|--------|-----------------|
| LAN | LAN 経由で接続 |
| SERIAL | シリアルポートをダイレクト接続 |
| MODEM | モデム経由で接続 |

2.2.13 getServerProperty

Syntax:

`dscli getServerProperty Component PropertyName`

Description:

コンポーネントの指定されたプロパティを表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

PropertyName

取得するプロパティの名前を指定します。2.2.9 setServerPropertyを参照してください。

Output:

コンポーネントの指定されたプロパティを表示します。

2.2.14 getServerInfo

Syntax:

dscli getServerInfo *Component*

Description:

指定されたコンポーネントについて、主なプロパティの項目を表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

指定されたコンポーネントについて、主なプロパティの項目を表示します。

表示される情報を示します。

| 項目名 | 意味 |
|------------------------------|---|
| Component Name | コンポーネントの名前です。 |
| Alias | コンポーネントの別名です。 |
| Group | コンポーネントが所属するグループ名です。 |
| Connection Type | コンポーネントとの接続形態です。 |
| BMC Control | BMC 管理の状態を示します。 Enable : 管理有効 Disable : 管理無効 Not Registered : 管理未登録 Not Support : 管理対象外 (BMC 未搭載装置) |
| Check Connection | 接続チェックを実施済みの場合は Completed と表示します。 |
| BMC Current IP Address | LAN 接続のための現在使用中のコンポーネントの BMC IP アドレスです。 |
| Failover | BMC の片方の IP アドレスへの通信がエラーになった場合にもう一方の IP アドレスに切り替えて通信を続行するフェイルオーバー機能の有効／無効を示します。 |
| BMC LAN1 IP Address | LAN 接続のためのコンポーネントの BMC の IP アドレスです。 |
| BMC LAN1 Subnet Mask | LAN 接続のためのコンポーネントの BMC のサブネットマスクです。 |
| BMC LAN2 IP Address | LAN 接続のためのコンポーネントの BMC の予備の IP アドレスです。 |
| BMC LAN2 Subnet Mask | LAN 接続のためのコンポーネントの BMC の予備の IP アドレスのサブネットマスクです。 |
| Phone Number | コンポーネントの電話番号です。 |
| Product Name | コンポーネントの製品名です。 |
| Serial Number | コンポーネントの号機番号です。 |
| GUID | コンポーネントの個体識別用 ID です。 |
| IPMI Version | コンポーネントの IPMI バージョンです。 |
| Remote KVM and Media License | コンポーネントのリモートマネジメント拡張ライセンスの登録状況です。この項目はコンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジンを搭載している場合のみ表示されます。 出力内容については、2.1.14groupGetRemoteKvmLicenseの説明を参照してください。 |
| Chassis Name | コンポーネントが搭載されている筐体名です。コンポーネントが CPU ブレードまたはスイッチブレードの場合に表示します。 |
| Slot Number | コンポーネントが搭載されている筐体のスロット番号です。コンポーネントが CPU ブレードまたはスイッチブレードの場合に表示します。 |
| Blade Width | ブレードの幅。スロット枚数で示します。コンポーネントが CPU ブレードまたはスイッチブレードの場合に表示します。 |

| | |
|--------------|--|
| Blade Height | ブレードの高さ。スロット枚数で示します。コンポーネントがブレード高の情報を持っている場合に表示されます。 |
| Blade Name | ブレード名。コンポーネントがブレード名の情報を持っている場合に表示されます。 |

2.2.15 getDeviceId

Syntax:

```
dscli getDeviceId Component
```

Description:

コンポーネントのマネージメントコントローラ情報を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

デバイス ID の表示例を示します。

| | |
|-----------------|---------|
| Device ID | : 20H |
| Device Rev. | : 1 |
| Fw Rev. | : 00.08 |
| Manufacturer ID | : 119 |
| Product ID | : 2c3H |

2.2.16 getGuid

Syntax:

```
dscli getGuid Component
```

Description:

コンポーネントの GUID を取得して表示します。GUID は個体識別用の ID です。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

GUID を表示します。

2.2.17 getProductName

Syntax:

`dscli getProductName Component`

Description:

コンポーネントの製品名と号機番号を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

以下の情報を表示します。

| | |
|--------------|--------------|
| ProductName | コンポーネントの製品名 |
| SerialNumber | コンポーネントの号機番号 |

2.2.18 getSoftwareInfo

Syntax:

`dscli getSoftwareInfo Component`

Description:

コンポーネント上の Agent 拡張バージョン(ESMPRO/ServerAgent Extension のバージョン)、OS のバージョン、BIOS のバージョンを取得して表示します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

バージョン情報を表示します。表示例を示します。

| | |
|--------------------------|-----------------------|
| Agent Extension Version: | 2.03.04 |
| BIOS Version | : 6.0.0106 |
| OS Version | : Windows 2003 Server |

2.2.19 setShutdownPolicy

Syntax:

dscli setShutdownPolicy Component KeyName Value

Description:

コンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent Extension のシャットダウン設定を変更します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

KeyName

変更するシャットダウン設定項目を示すキー名を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| KeyName | 意味 | Value |
|--------------------------|--|-----------------|
| SCH_ACLINK_STAYON_ENABLE | スケジュール運転による OS シャットダウンを実行する際に AC-LINK を Always Power On に設定 | 0: 無効, 1: 有効 |
| SCH_AC_LINK | AC-LINK 設定値 (setPowerRestoreDelay コマンドと同じ働きをします) ※表示のみ。設定はできません。 | - |
| SCH_DC_OFF_ENABLE | OS シャットダウン後に強制電源 OFF を実行 (OS シャットダウン後も電源 ON 状態のままとなるコンポーネントの場合、有効に設定することで ESMPRO/ServerAgent Extension がコンポーネントを OS シャットダウンする時に電源も OFF にします。) | 0: 無効 1: 有効 |
| SCH_DC_OFF_DELAY | SCH_DC_OFF_ENABLE が有効の場合、OS シャットダウン後の強制電源 OFF までの時間 (分) | 5-60 |
| SCH_SHUTDOWN_ENABLE | スケジュール運転で指定された休止期間中に電源 ON されたときに、自動シャットダウンを実行 | 0: 無効 1: 有効 |
| SCH_SHUTDOWN_WAIT | OS シャットダウンコマンド実行から、実際に OS シャットダウンが開始されるまでの猶予時間 (秒) ※表示のみ。設定はできません。 | - |

2.2.20 getShutdownPolicy

Syntax:

`dscli getShutdownPolicy Component`

Description:

コンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent Extension のシャットダウン設定を取得して表示します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

シャットダウン設定を表示します。詳細は、2.2.19 setShutdownPolicyを参照してください。表示例を示します。

```
SCH_ACLINK_STAYON_ENABLE=0
SCH_AC_LINK=1
SCH_DC_OFF_ENABLE=1
SCH_DC_OFF_DELAY=10
SCH_SHUTDOWN_ENABLE=1
SCH_SHUTDOWN_WAIT=60
```

2.2.21 setPowerRestoreDelay

Syntax:

```
dscli setPowerRestoreDelay Component DelayTime [/x Policy]
```

Description:

コンポーネントが AC ON されたときの動作を指定する電源オプション設定を変更します。
電源オプション設定では、AC-LINK 設定、および、AC-LINK 設定が AC ON 時に連動して電源 ON(DC ON)する設定になっているときの AC ON から DC ON までの間隔を指定できます。

重要:

- コンポーネントが電源オプション設定機能をサポートしていない場合は実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。

チェック:

- EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載ブレードサーバに対しては、指定された遅延時間の設定を行いません。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

DelayTime

- | | |
|---------|---|
| AAA~BBB | AC ON から DC ON までの間隔を秒単位で指定します。 ※AAA はコンポーネントの設定可能最小値 ※コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン 3 を搭載している場合、BBB は 600 ※コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン 3 を搭載していない場合、BBB は 255 |
| -1 | AC ON から DC ON までの間隔を変更しないときに指定します。 |
| RANDOM | AC ON から DC ON までの間隔をランダムに指定します。 ※ランダム設定機能をサポートしているコンポーネントの場合指定できます。 |

/x Policy

AC-LINK を設定します。Policy に設定可能な値は 3 種類です。

- | | |
|------------|--|
| STAY_OFF | AC ON 時、DC OFF 状態になります。 |
| LAST_STATE | DC OFF 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DC OFF 状態になります。 DC ON 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DelayTime オプションで設定された時間後に DC ON 状態になります。 |
| POWER_ON | AC ON 時、DelayTime オプションで設定された時間後に DC ON 状態になります。 |

2.2.22 getPowerRestoreDelay

Syntax:

`dscli getPowerRestoreDelay Component`

Description:

コンポーネントが AC ON されたときの動作を指定する電源オプション設定の内容を取得して表示します。

電源オプション設定の詳細は2.2.21 setPowerRestoreDelayを参照してください。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

電源オプション設定を表示します。表示例を示します。

| | |
|------------------|----------------|
| Policy | : LAST_STATE |
| Delay Time | : RANDOM |
| Delay Time Range | : 45 - 600 sec |

2.2.23 setBmcInfo

Syntax:

```
dscli setBmcInfo Component KeyName Value [/x ModuleNo]
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーション情報を変更します。BMC の種類によってサポートしているパラメータが異なります。

ヒント :

- 認証キーおよびモデム経由通報の通報先パスワードを変更する場合は `setAuthKey` を使用します。2.2.25 `setAuthKey` を参照してください。
- `CFG_MAIL_ALERT_LEVEL`、`CFG_SNMP_ALERT_LEVEL` のセンサ個別レベルを変更する場合は `setSensorLevel` を使用します。2.2.26 `setSensorLevel` を参照してください。
- `CFG_NETWORK_SHARED_BMC_LAN` 、 `CFG_NETWORK_BMC_MAC` 、 `CFG_NETWORK_GUID` は変更できません。 `getBmcInfo` で使用します。2.2.24 `getBmcInfo` を参照してください。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

KeyName

変更する BMC コンフィグレーション項目を示すキー名を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。このパラメータはネットワーク設定項目についてのみ有効です。

`ModuleNo` を指定しない場合はネットワーク設定項目について CPU/IO モジュール 0 の設定を変更します。

その他の項目は、このパラメータにかかわらず両系の設定を変更します。

コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サーバ (2BMC モデル) の場合に Master (0) または StandBy (1) を指定します。このパラメータはネットワークパラメータ設定項目についてのみ有効です。

`ModuleNo` を指定しない場合はネットワークパラメータ設定項目について Master (0) として設定変更を行います。

| KeyName | 意味 | Value |
|-----------------------|--------------|---------------------------|
| CFG_COMPUTER_NAME | 共通 : コンピュータ名 | 15 文字まで |
| CFG_COMMUNITY | 共通 : コミュニティ名 | 16 文字まで |
| CFG_ALERT_ALL | 共通 : 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_POLICY | 共通 : 通報手順 | 1: 1つの通報先のみ 2: すべての通報先 |
| CFG_ALERT_ACKNOWLEDGE | 共通 : 通報応答確認 | 0: 無効 1: 有効 |

| KeyName | 意味 | Value |
|----------------------------------|--|-------------------------------|
| CFG_ALERT_LEVEL | 共通：通報レベル | 0: 通報なし 1 - 6: 通報レベル 1 - 6 |
| CFG_LAN_CONTROL_LAN1 | 共通：リモート制御 (LAN1) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SERIAL_CONTROL | 共通：リモート制御 (WAN/ダイレクト) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_REDIRECTION | 共通：リダイレクション (LAN) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SERIAL_REDIRECTION | 共通：リダイレクション (WAN/ダイレクト) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_CONTROL_LAN2 | 共通：リモート制御 (LAN2) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_ALERT_POLICY_LAN | 共通：LAN 通報設定 LAN1/LAN2 優先 | 0: LAN1 優先 1: LAN2 優先 |
| CFG_LAN_ALERT_POLICY_DESTINATION | 共通：LAN 通報設定 LAN/通報先 優先 | 0: LAN 優先 1: 通報先優先 |
| CFG_DHCP | LAN1:IP アドレスを自動的に取得する (DHCP) | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_IP_LAN1 | LAN1:IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_SUBNET_LAN1 | LAN1:サブネットマスク | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_GATEWAY_LAN1 | LAN1:デフォルトゲートウェイ | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE1_ALERT_LAN1 | LAN1: 1 次 通報 先 / 管理 用 PC(1) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE1_IP_LAN1 | LAN1: 1 次 通報 先 / 管理 用 PC(1) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE2_ALERT_LAN1 | LAN1: 2 次 通報 先 / 管理 用 PC(2) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE2_IP_LAN1 | LAN1: 2 次 通報 先 / 管理 用 PC(2) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE3_ALERT_LAN1 | LAN1: 3 次 通報 先 / 管理 用 PC(3) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE3_IP_LAN1 | LAN1: 3 次 通報 先 / 管理 用 PC(3) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_ALERT_RETRY_COUNT_LAN1 | LAN1:通報リトライ回数 | 0 - 7 |
| CFG_LAN_ALERT_RETRY_TIMEOUT_LAN1 | LAN1:通報タイムアウト (秒単位) | 3 - 30 |
| CFG_DHCP_LAN2 | LAN2:IP アドレスを自動的に取得する (DHCP) | 0: 無効 1: 有効 |

| KeyName | 意味 | Value |
|----------------------------------|--------------------------------------|--|
| CFG_LAN_IP_LAN2 | LAN2:IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_SUBNET_LAN2 | LAN2:サブネットマスク | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_GATEWAY_LAN2 | LAN2:デフォルトゲートウェイ | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE1_ALERT_LAN2 | LAN2: 1 次通報先/管理用 PC(1) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE1_IP_LAN2 | LAN2: 1 次通報先/管理用 PC(1) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE2_ALERT_LAN2 | LAN2: 2 次通報先/管理用 PC(2) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE2_IP_LAN2 | LAN2: 2 次通報先/管理用 PC(2) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_MANAGE3_ALERT_LAN2 | LAN2: 3 次通報先/管理用 PC(3) 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_LAN_MANAGE3_IP_LAN2 | LAN2: 3 次通報先/管理用 PC(3) IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_LAN_ALERT_RETRY_COUNT_LAN2 | LAN2:通報リトライ回数 | 0 - 7 |
| CFG_LAN_ALERT_RETRY_TIMEOUT_LAN2 | LAN2:通報タイムアウト (秒単位) | 3 - 30 |
| CFG_SERIAL_MODE | WAN/ダイレクト : モード | 1: ダイレクト 2: モデム |
| CFG_SERIAL_BAUDRATE | WAN/ダイレクト : ボーレート | 1: 9600bps 2: 19.2Kbps 3: 57.6Kbps 4: 115.2Kbps |
| CFG_SERIAL_FLOW_CONTROL | WAN/ダイレクト : フロー制御 | 1: なし 2: RTS/CTS 3: XON/XOFF |
| CFG_SERIAL_DIAL_MODE | WAN/ダイレクト : ダイヤルモード | 1: パルス 2: トーン |
| CFG_SERIAL_INIT | WAN/ダイレクト : 初期化コマンド | 48 文字まで |
| CFG_SERIAL_HANG_UP | WAN/ダイレクト : ハングアップコマンド | 8 文字まで |
| CFG_SERIAL_DTR_HANG_UP | WAN/ダイレクト : DTR ハングアップ | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SERIAL_ESCAPE_CODE | WAN/ダイレクト : エスケープコード | 1 文字 |
| CFG_SERIAL_DIAL_RETRY_COUNT | WAN/ダイレクト : 通報設定 ダイヤルリ トライ回数 | 0 - 7 |

| KeyName | 意味 | Value |
|---------------------------------|--|----------------|
| CFG_SERIAL_DIAL_RETRY_INTERVAL | WAN/ダイレクト : 通報設定 ダイアル間 隔 (秒単位) | 60 - 240 |
| CFG_SERIAL_ALERT_RETRY_COUNT | WAN/ダイレクト : 通報設定 通報リトラ イ回数 | 0 - 7 |
| CFG_SERIAL_ALERT_RETRY_INTERVAL | WAN/ダイレクト : 通報設定 通報タイム アウト(秒単位) | 3 - 30 |
| CFG_SERIAL_ALERT_PPP1 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 1 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SERIAL_DIAL_NUMBER_PPP1 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 1 電話番号 | 19 文字まで |
| CFG_SERIAL_USER_ID_PPP1 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 1 ユーザ ID | 16 文字まで |
| CFG_SERIAL_DOMAIN_PPP1 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 1 ドメイン | 16 文字まで |
| CFG_SERIAL_ALERT_PPP2 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 2 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SERIAL_DIAL_NUMBER_PPP2 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 2 電話番号 | 19 文字まで |
| CFG_SERIAL_USER_ID_PPP2 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 2 ユーザ ID | 16 文字まで |
| CFG_SERIAL_DOMAIN_PPP2 | WAN/ダイレクト : 通報設定 PPP コンポ ーネント 2 ドメイン | 16 文字まで |
| CFG_SERIAL_MANAGE1_IP | WAN/ダイレクト : 通報設定 1 次通報先 | IP アドレス形式 |
| CFG_SERIAL_MANAGE2_IP | WAN/ダイレクト : 通報設定 2 次通報先 | IP アドレス形式 |
| CFG_SERIAL_MANAGE3_IP | WAN/ダイレクト : 通報設定 3 次通報先 | IP アドレス形式 |
| CFG_PAGER_MANAGE1_ALERT | ページャ : 1 次通報先 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_PAGER_MANAGE1_DIAL_NUMBER | ページャ : 1 次通報先 電話番号 | 19 文字まで |
| CFG_PAGER_MANAGE2_ALERT | ページャ : 2 次通報先 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_PAGER_MANAGE2_DIAL_NUMBER | ページャ : 2 次通報先 電話番号 | 19 文字まで |
| CFG_PAGER_MESSAGE | ページャ : ページャメッセージ | 29 文字まで |
| CFG_PAGER_TIMEOUT | ページャ : ガイドメッセージ待 ち時間(2 秒単位) | 0 - 30 |

| KeyName | 意味 | Value |
|---|--|--|
| CFG_NETWORK_SHARED_BMC_LAN | ネットワーク プロパティ： 管理用 LAN 設定 管理 用 LAN | 0:Management LAN 1:Shared System LAN |
| CFG_NETWORK_SHARED_BMC_LAN_DUP LICABLE | ネットワーク プロパティ： Shared BMC LAN ニ 重化 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_VLAN | ネットワーク プロパティ： VLAN | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_VLAN_ID | ネットワーク プロパティ： VLAN ID | 1- 4094 |
| CFG_NETWORK_VLAN_PRIORITY | ネットワーク プロパティ： VLAN Priority | 0 - 7 |
| CFG_NETWORK_CONNECTION_TYPE | ネットワーク プロパティ： 基本設定 通信タイプ | 0: Auto Negotiation 1: 100Mbps Full Duplex 2: 100Mbps Half Duplex 3: 10Mbps Full Duplex 4: 10Mbps Half Duplex 5: 1Gbps Full Duplex 6: 1Gbps Half Duplex 7: 10Gbps Full Duplex 8: 10Gbps Half Duplex |
| CFG_NETWORK_BMC_MAC | ネットワーク プロパティ： BMC MAC アドレス | MAC アドレス形式 |
| CFG_NETWORK_DHCP | ネットワーク プロパティ： 基本設定 DHCP | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_IP_LAN | ネットワーク プロパティ： 基本設定 IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_NETWORK_SUBNET_LAN | ネットワーク プロパティ： 基本設定 サブネット マスク | IP アドレス形式 |
| CFG_NETWORK_GATEWAY_LAN | ネットワーク プロパティ： 基本設定 デフォルト ゲートウェイ | IP アドレス形式 |
| CFG_NETWORK_DYNAMIC_DNS | ネットワーク プロパティ： 基本設定 ダイナミッ ク DNS | 0: 無効 1: 有効 |

| KeyName | 意味 | Value |
|-------------------------------------|---|---|
| CFG_NETWORK_DNS_SERVER | ネットワーク プロパティ： 基本設定 DNS サーバ | IP アドレス形式 |
| CFG_NETWORK_HOST_NAME | ネットワーク プロパティ： 基本設定 ホスト名 | ホスト名とドメイン名合わせて 255 文字まで |
| CFG_NETWORK_DOMAIN_NAME | ネットワーク プロパティ： 基本設定 ドメイン名 | ホスト名とドメイン名合わせて 255 文字まで |
| CFG_NETWORK_GUID | ネットワーク プロパティ： System GUID | |
| CFG_NETWORK_IPV6 | IPv6 | 0:無効 1:有効 |
| CFG_NETWORK_IPV6_ASSIGNMENT_MODE | IPv6 アドレス割り当てモード | 0:静的 1:動的 |
| CFG_NETWORK_IPV6_LINK_LOCAL_ADDRESS | IPv6 リンクローカルアドレス | |
| CFG_NETWORK_IPV6_GLOBAL_ADDRESS | IPv6 グローバルアドレス | |
| CFG_NETWORK_IPV6_STATIC_ADDRESS | IPv6 静的アドレス | |
| CFG_NETWORK_IPV6_PREFIX_LENGTH | IPv6 プリフィックス長 | 0 - 64 |
| CFG_NETWORK_IPV6_GATEWAY_ADDRESS | IPv6 ゲートウェイアドレス | |
| CFG_NETWORK_IPV6_DNS_SERVER | IPv6 DNS サーバアドレス | |
| CFG_NETWORK_ACCESS_LIMITATION_TYPE | ネットワーク プロパティ： アクセス制限設定 制限タイプ | 0: 制限なし 1: 許可アドレス 2: 拒否アドレス |
| CFG_NETWORK_ACCESS_ADDRESS | ネットワーク プロパティ： アクセス制限設定 IP アドレス | IP アドレス形式 コンマ(,)を使用して、IP アドレスを区切ってください IP アドレスは、ワイルドカード(*)での指定が可能です |
| CFG_NETWORK_HTTP | ネットワーク サービス： Web サーバ設定 HTTP | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_HTTP_PORT | ネットワーク サービス： Web サーバ設定 HTTP ポート番号 | 1 - 65535 |
| CFG_NETWORK_HTTPS | ネットワーク サービス： Web サーバ設定 HTTPS | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_HTTPS_PORT | ネットワーク サービス： Web サーバ設定 HTTPS ポート番号 | 1 - 65535 |

| KeyName | 意味 | Value |
|------------------------|---|---|
| CFG_NETWORK_SSH | ネットワーク サービス : SSH 設定 SSH | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_NETWORK_SSH_PORT | ネットワーク サービス : SSH 設定 SSH ポート 番号 | 1 - 65535 |
| CFG_MAIL_ALERT | 通報 メール通報 : 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_MAIL_ALERT_TIMEOUT | 通報 メール通報 : SMTP サーバ応答待ち 時間 | 30 - 600 |
| CFG_MAIL_ALERT_SERVER | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 サーバ | 255 文字まで |
| CFG_MAIL_ALERT_PORT | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 ポート番号 | 1 - 65535 |
| CFG_MAIL_ALERT_CRAMMD5 | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 認 証 CRAM-MD5 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_MAIL_ALERT_LOGIN | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 認 証 LOGIN | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_MAIL_ALERT_PLAIN | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 認 証 PLAIN | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_MAIL_ALERT_USER | 通報 メール通報 : SMTP サーバ設定 ユーザ名 | 64 文字まで |
| CFG_MAIL_ALERT_TO1 | 通報 メール通報 : メール設定 宛先 1 メール設定 宛先 1 メ ールアドレス | 255 文字まで 無効にする場合は 0 を指定してくださ い |
| CFG_MAIL_ALERT_TO2 | 通報 メール通報 : メール設定 宛先 2 メール設定 宛先 2 メ ールアドレス | 255 文字まで 無効にする場合は 0 を指定してくださ い |

| KeyName | 意味 | Value |
|----------------------------|---|---|
| CFG_MAIL_ALERT_TO3 | 通報 メール通報 : メール設定 宛先 3 メール設定 宛先 3 メールアドレス | 255 文字まで 無効にする場合は 0 を指定してください |
| CFG_MAIL_ALERT_FROM | 通報 メール通報 : メール設定 差出人 | 255 文字まで |
| CFG_MAIL_ALERT_REPLY | 通報 メール通報 : メール設定 返信先 | 255 文字まで |
| CFG_MAIL_ALERT_SUBJECT | 通報 メール通報 : メール設定 件名 | 63 文字まで |
| CFG_MAIL_ALERT_LEVEL | 通報 メール通報 : 通報レベル設定 通報レベル | 0: 異常 1: 異常、警告 2: 異常、警告、情報 3: 個別設定 |
| CFG_SNMP_ALERT | 通報 SNMP 通報 : 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SNMP_COMPUTER_NAME | 通報 SNMP 通報 : コンピュータ名 | 16 文字まで |
| CFG_SNMP_COMMUNITY | 通報 SNMP 通報 : コミュニティ名 | 16 文字まで |
| CFG_SNMP_ALERT_ACKNOWLEDGE | 通報 SNMP 通報 : 通報応答確認 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SNMP_ALERT_POLICY | 通報 SNMP 通報 : 通報手順 | 1: 1 つの通報先のみ 2: すべての通報先 |
| CFG_SNMP_ALERT_RETRY_COUNT | 通報 SNMP 通報 : 通報リトライ回数 | 0 - 7 |
| CFG_SNMP_ALERT_TIMEOUT | 通報 SNMP 通報 : 通報タイムアウト | 3 - 30 |
| CFG_SNMP_MANAGE1_ALERT | 通報 SNMP 通報 : 通報先 1 次通報先 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SNMP_MANAGE1_IP | 通報 SNMP 通報 : 通報先 1 次通報先 IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_SNMP_MANAGE2_ALERT | 通報 SNMP 通報 : 通報先 2 次通報先 通報 | 0: 無効 1: 有効 |

| KeyName | 意味 | Value |
|------------------------|--|--|
| CFG_SNMP_MANAGE2_IP | 通報 SNMP 通報 : 通報先 2 次通報先 IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_SNMP_MANAGE3_ALERT | 通報 SNMP 通報 : 通報先 3 次通報先 通報 | 0: 無効 1: 有効 |
| CFG_SNMP_MANAGE3_IP | 通報 SNMP 通報 : 通報先 3 次通報先 IP アドレス | IP アドレス形式 |
| CFG_SNMP_ALERT_LEVEL | 通報 SNMP 通報 : 通報レベル設定 通報 レベル | 0: 異常 1: 異常、警告 2: 異常、警告、情報 3: 個別設定 |
| CFG_MISCELLANEOUS_SEL | その他 : SEL 設定 SEL 領域 Full 時の動作 | 0: SEL の記録停止 1: SEL の全クリア 2: 古い SEL を上書き |
| CFG_MISCELLANEOUS_PEF | その他 : PEF 設定 Platform Event Filter | 0: 無効 1: 有効 |

2.2.24 getBmcInfo

Syntax:

```
dscli getBmcInfo Component [/x ModuleNo]
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーション情報を取得します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。このパラメータはネットワーク設定項目についてのみ有効です。

ModuleNo を指定しない場合はネットワーク設定項目について CPU/IO モジュール 0 の設定を取得します。

その他の項目は、このパラメータにかかわらず現在プライマリとして動作している CPU/IO モジュールの設定を取得します。

コンポーネントが EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サーバ (2BMC モデル) の場合に **Master** (0) または **StandBy** (1) を指定します。このパラメータはネットワークパラメータ設定項目についてのみ有効です。

ModuleNo を指定しない場合はネットワークパラメータ設定項目について **Master** (0) の設定を取得します。

Output:

BMC コンフィグレーション情報を表示します。詳細は、2.2.23 setBmcInfo を参照してください。表示例を示します。

```
CFG_COMPUTER_NAME=Component1
CFG_COMMUNITY=public
CFG_ALERT_ALL=1
CFG_POLICY=1
CFG_ALERT_ACKNOWLEDGE=1
CFG_ALERT_LEVEL=4
CFG_LAN_REDIRECTION=1
CFG_LAN_CONTROL_LAN1=1
CFG_SERIAL_REDIRECTION=1
CFG_SERIAL_CONTROL=1
CFG_LAN_IP_LAN1=192.168.14.14
CFG_LAN_SUBNET_LAN1=255.255.255.0
CFG_LAN_GATEWAY_LAN1=192.168.14.1
CFG_LAN_MANAGE1_ALERT_LAN1=0
CFG_LAN_MANAGE1_IP_LAN1=0.0.0.0
CFG_LAN_MANAGE2_ALERT_LAN1=0
CFG_LAN_MANAGE2_IP_LAN1=0.0.0.0
CFG_LAN_MANAGE3_ALERT_LAN1=0
CFG_LAN_MANAGE3_IP_LAN1=0.0.0.0
CFG_LAN_ALERT_RETRY_COUNT_LAN1=3
CFG_LAN_ALERT_RETRY_TIMEOUT_LAN1=6
:
```


2.2.25 setAuthKey

Syntax:

```
dscli setAuthKey Component OldPassword NewPassword SelectAuthKey
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーション情報に設定されている認証キーまたはモデム経由通報先である PPP サーバ、メール通報先である SMTP サーバのパスワードを変更します。BMC の種類によってサポートしているパラメータが異なります。

.....
チェック :

- EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載サーバに対しては、メール通報 SMTP パスワードのみ変更できます。
-

.....
ヒント :

- 認証キーを変更した場合は、このコマンドが正常終了した後、2.2.9 setServerProperty で ESMPTRO/ServerManager 上に登録している認証キーを変更してください。
-

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

OldPassword

現在の認証キーまたはパスワードを入力します。

NewPassword

新しい認証キーまたはパスワードを入力します。

16 文字までの認証キーまたは PPP サーバパスワードを指定してください。

SMTP サーバのパスワードは 20 文字までのパスワードを指定してください。

SelectAuthKey

変更する認証キーまたはパスワードの種類を指定します。

- | | |
|---|------------------|
| 0 | 認証キー |
| 1 | PPP サーバ1 パスワード |
| 2 | PPP サーバ2 パスワード |
| 3 | メール通報 SMTP パスワード |

2.2.26 setSensorLevel

Syntax:

```
dscli setSensorLevel Component Type SensorName Level1 Level2 Level3
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーション情報に設定されている通報個別センサレベルを変更します。このコマンドは通報レベルが個別設定の場合に実行できます。

ヒント:

- 通報レベルを個別設定に変更する場合は setBmcInfo を使用します。2.2.23 setBmcInfo を参照してください。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Type

通報タイプを指定します。

| | |
|------|---------|
| SNMP | SNMP 通報 |
| MAIL | メール通報 |

SensorName

通報レベルを変更するセンサ名を指定します。一覧を参照してください。

Level1

通報レベル(異常)を指定します。以下の数値によって通報レベルの指定を行います。

Level2

通報レベル(警告)を指定します。以下の数値によって通報レベルの指定を行います。

Level3

通報レベル(情報)を指定します。以下の数値によって通報レベルの指定を行います。

| | |
|---|-------------------------------|
| 0 | SNMP 通報またはメール通報の通報レベルを無効 |
| 1 | SNMP 通報またはメール通報宛先 1 の通報レベルを有効 |
| 2 | メール通報宛先 2 の通報レベルを有効 |
| 3 | メール通報宛先 3 の通報レベルを有効 |
| 4 | メール通報宛先 1、宛先 2 の通報レベルを有効 |
| 5 | メール通報宛先 1、宛先 3 の通報レベルを有効 |
| 6 | メール通報宛先 2、宛先 3 の通報レベルを有効 |
| 7 | メール通報宛先 1、宛先 2、宛先 3 の通報レベルを有効 |
| 8 | SNMP 通報またはメール通報の全宛先の通報レベルが未対応 |

ヒント:

- 指定したセンサで変更不可の通報レベルがある場合、0 を指定してください。
- 通報レベルに 8 を設定することはできません。

センサ名と指定可能レベルの一覧を参照してください。

○：変更可能、×：変更不可能

| SensorName | 意味 | Level1 | Level2 | Level3 |
|-----------------------|----------------|--------|--------|--------|
| TEMP_THRESHOLD | 温度(閾値監視) | ○ | ○ | ○ |
| VOLT_THRESHOLD | 電圧(閾値監視) | ○ | ○ | ○ |
| FAN_SENSOR | ファン(回転数) | ○ | ○ | ○ |
| COOL_DEV_THRESHOLD | 冷却装置(閾値監視) | ○ | ○ | ○ |
| TEMP_ABNORMAL | 温度(異常監視) | ○ | × | ○ |
| POST_MEM_RESIZE | メモリ縮退 | × | ○ | ○ |
| MODULE_BOARD | モジュール/ボード(未実装) | ○ | × | ○ |
| SMI_TIMEOUT | SMI Timeout | ○ | × | ○ |
| VOL_ABNORMAL | 電圧(異常監視) | ○ | × | ○ |
| COOL_DEV_ABNORMAL | 冷却装置(異常監視) | ○ | ○ | ○ |
| TRANSITION_PW_SAVE | 低消費電力モード遷移 | × | × | ○ |
| MICROCONTROLL_STS | マイクロコントローラ状態 | × | ○ | ○ |
| PW_UNIT_REDUN | 電源ユニット(冗長構成監視) | ○ | ○ | ○ |
| MEM_REDUN | メモリ(冗長構成監視) | × | × | ○ |
| PHY_SEC | 筐体イントリユージョン | × | ○ *1 | ○ |
| PLATFORM_SEC | セキュリティ違反 | × | × | ○ |
| PROCESSOR | プロセッサ | ○ | × | ○ |
| PW_SUPPLY | 電源モジュール | × | ○ | ○ |
| PW_UNIT_STS | 電源ユニット(状態監視) | ○ | ○ | ○ |
| MEM | メモリ | ○ | × | ○ |
| DRIVE_SLOT | デバイスベイ | ○ | ○ | ○ |
| POST_ERR | POST | ○ | × | ○ |
| EVT_LOG_DISABLED | ログ | × | ○ | ○ |
| SYS_EVT | システムイベント | × | × | ○ |
| CRITICAL_INT | 異常系割り込み | ○ | × | ○ |
| BUTTON_SWITCH | ボタン/スイッチ | × | × | ○ |
| CHIP_SET | チップセット | ○ | × | ○ |
| CABLE_INTERRUPT | ケーブル/機器相互接続 | × | × | ○ |
| SYS_BOOT_RESTART_INIT | システムブート/リスタート | × | × | ○ |
| BOOT_ERR | ブートエラー | × | × | ○ |
| OS_BOOT | OS ブート | × | × | ○ |
| OS_STOP_SHUTDOWN | OS 停止/シャットダウン | ○ | × | ○ |
| SLOT_CONNECTOR | スロット/コネクタ | ○ | ○ | ○ |
| ACPI | ACPI(省電力管理) | × | × | ○ |
| WATCHDOG_TIMER | ウォッチドッグタイマ | ○ | × | ○ |
| ENTITY_PRESENCE_INFO | 装置構成単位の実装情報 | × | × | ○ |
| VERSION_CHANGE | バージョン変更 | × | × | ○ |
| SSD_STATUS | SSD 監視 | ○ | ○ | ○ |

| SensorName | 意味 | Level1 | Level2 | Level3 |
|-------------------|---------------|--------|--------|--------|
| SECURE_BOOT | Secure Boot | × | × | ○ |
| FRU_HOT_SWAP | FRU Hot Swap | × | × | ○ |
| SYS_SPEC_PW_STATE | システム固定電源状態 | × | × | ○ |
| PW_CAPPING | Power Capping | ○ | ○ | × |
| SENSOR_FAILURE | センサ故障 | ○ | × | ○ |
| MANAGEMENT_ENGINE | マネージメントエンジン | ○ | ○ *1 | ○ |

*1 管理対象装置によっては、変更できない場合があります。

フォールト・トレラント・サーバの場合は、指定可能なセンサ名と指定可能レベルが異なります。以下の一覧を参照してください。

| SensorName | 意味 | Level1 | Level2 | Level3 |
|-----------------------|---------------|--------|--------|--------|
| TEMP_THRESHOLD | 温度(閾値監視) | × | ○ | ○ |
| VOLT_THRESHOLD | 電圧(閾値監視) | × | ○ | ○ |
| FAN_SENSOR | ファン(回転数) | × | ○ | ○ |
| PROCESSOR | プロセッサ | × | ○ | ○ |
| PW_SUPPLY | 電源モジュール | × | ○ | ○ |
| PW_UNIT_STS | 電源ユニット(状態監視) | × | × | ○ |
| MEM | メモリ | × | ○ | ○ |
| POST_ERR | POST | × | ○ | ○ |
| EVT_LOG_DISABLED | ログ | × | × | ○ |
| SYS_EVT | システムイベント | × | × | ○ |
| CRITICAL_INT | 異常系割り込み | ○ | × | ○ |
| BUTTON_SWITCH | ボタン/スイッチ | × | × | ○ |
| SYS_BOOT_RESTART_INIT | システムブート/リスタート | × | × | ○ |
| BOOT_ERR | ブートエラー | × | × | ○ |
| SLOT_CONNECTOR | スロット/コネクタ | × | × | ○ |
| ACPI | ACPI(省電力管理) | × | × | ○ |
| WATCHDOG_TIMER | ウォッチドッグタイマ | × | ○ | ○ |
| SENSOR_FAILURE | センサ故障 | × | ○ | ○ |
| HA_EVENT | HA イベント | ○ | ○ | ○ |

EXPRESSSCOPE エンジン SP3 搭載サーバ (2BMC モデル) の場合は、指定可能なセンサ名と指定可能レベルが異なります。

以下の一覧を参照してください。

| SensorName | 意味 | Level1 | Level2 | Level3 |
|----------------------------|-------------------|--------|--------|--------|
| TEMP_THRESHOLD | 温度(閾値監視) | ○ | ○ | ○ |
| VOLT_THRESHOLD | 電圧(閾値監視) | ○ | ○ | ○ |
| FAN_SENSOR *2 | ファン(回転数) | ○ | ○ | ○ |
| POST_MEM_RESIZE *2 | メモリ縮退 | × | ○ | ○ |
| SMI_TIMEOUT | SMI Timeout | ○ | ○ *1 | ○ *1 |
| VOL_ABNORMAL | 電圧(異常監視) | ○ | ○ | ○ |
| PROCESSOR_ABNORMAL | プロセッサ(異常監視) | ○ | ○ *1 | ○ |
| MODULE_BOARD_ABNORMAL | モジュール/ボード(異常状態監視) | ○ | × | ○ |
| MODULE_BOARD_DISABLED | モジュール/ボード(無効状態監視) | × | × | ○ |
| SLOT_CONNECTOR_DISABLED *2 | スロット/コネクタ(無効状態監視) | ○ | ○ | ○ |
| PROCESSOR_DEGRADED | プロセッサ(縮退状態監視) | × | × | ○ |
| MODULE_BOARD_DEGRADED | モジュール/ボード(縮退状態監視) | × | × | ○ |
| MICROCONTROLL_STS | マイクロコントローラ状態 | ○ *1 | ○ *1 | ○ |
| SLOT_CONNECTOR_DEGRADED *2 | スロット/コネクタ(縮退状態監視) | ○ | ○ | ○ |
| FAN_REDUN | FAN ユニット(冗長構成監視) | ○ | × | ○ |
| MEM_REDUN *2 | メモリ(冗長構成監視) | ○ | ○ | ○ |
| PW_UNIT_REDUN | 電源ユニット(冗長構成監視) | ○ | ○ *1 | ○ |
| PLATFORM_SEC | セキュリティ違反 | × | × | ○ |
| PROCESSOR | プロセッサ | ○ | ○ *1 | ○ |
| PW_SUPPLY | 電源モジュール | ○ | ○ | ○ |
| PW_UNIT_STS *2 | 電源ユニット (状態監視) | ○ | ○ | ○ |
| MEM | メモリ | ○ | ○ | ○ *1 |
| DRIVE_SLOT | デバイスベイ | ○ | × | ○ |
| POST_ERR | POST | × | × | ○ |
| EVT_LOG_DISABLED | ログ | × | × | ○ |
| SYS_EVT | システムイベント | ○ | × | ○ |
| CRITICAL_INT | 異常系割り込み | ○ | ○ *1 | ○ *1 |
| BUTTON_SWITCH | ボタン/スイッチ | × | × | ○ |
| CHIP_SET | チップセット | ○ | ○ *1 | ○ *1 |
| SYS_BOOT_RESTART_INIT | システムブート/リスタート | × | × | ○ |
| BOOT_ERR | ブートエラー | × | ○ *1 | ○ *1 |
| OS_BOOT | OS ブート | × | ○ *1 | ○ |
| OS_STOP_SHUTDOWN | OS 停止/シャットダウン | × | × | ○ |
| SLOT_CONNECTOR | スロット/コネクタ | ○ | ○ *1 | ○ |
| ACPI | ACPI(省電力管理) | × | × | ○ |
| WATCHDOG_TIMER | ウォッチドックタイマ | × | ○ | × |

| SensorName | 意味 | Level1 | Level2 | Level3 |
|-----------------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| ENTITY_PRESENCE_INFO *2 | 装置構成単位の実装情報 | ○ | ○ | ○ |
| BATTERY | 電池/バッテリー | ○ | ○ *1 | ○ |
| SYS_SPEC_PW_STATE *2 | システム固有電源状態 | ○ | ○ | ○ |
| PW_CAPPING *2 | Power Capping | × | ○ | × |
| SENSOR_FAILURE | センサ故障 | ○ | ○ *1 | ○ *1 |
| MANAGEMENT_ENGINE | マネージメントエンジン | ○ | ○ *1 | ○ |
| PW_SUPPLY_DISABLED *2 | 電源モジュール(無効状態監視) | × | × | ○ |
| SECURE_BOOT *2 | Secure Boot | × | × | ○ |
| PLATFORM_SPECIFIC_EVENT1 *2 | 装置固有イベント 1 | ○ | × | × |

*1 管理対象装置によっては、変更できない場合があります。

*2 管理対象装置によっては、未サポートの場合があります。

2.2.27 getSensorLevel

Syntax:

`dscli getSensorLevel Component Type`

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーション情報の通報レベル設定の通報レベルの個別センサレベルを表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Type

通報タイプを指定します。

| | |
|------|---------|
| SNMP | SNMP 通報 |
| MAIL | メール通報 |

Output:

センサ個別レベル情報を表示します。詳細は、2.2.26 setSensorLevel を参照してください。表示例を示します。

```
TEMP_THRESHOLD=111
VOLT_THRESHOLD=000
FAN_SENSOR=000
PLATFORM_SEC=800
PROCESSOR=000
PW_SUPPLY=000
PW_UNIT_STS=000
MEM=000
DRIVE_SLOT=000
EVT_LOG_DISABLED=800
SYS_EVT=080
CRITICAL_INT=000
BUTTON_SWITCH=880
MODULE_BOARD=800
SYS_BOOT_RESTART_INIT=880
BOOT_ERR=880
ACPI=880
SMI_TIMEOUT=800
POST_MEM_RESIZE=800
POST_ERR=800
SLOT_CONNECTOR=080
WATCHDOG_TIMER=080
SENSOR_FAILURE=800
:
```

2.2.28 getAgentExtensionLog

Syntax:

`dscli getAgentExtensionLog Component`

Description:

ESMPRO/ServerAgent Extension のアプリケーションログを取得して表示します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

ESMPRO/ServerAgent Extension のアプリケーションログを表示します。

2.2.29 testAlert

Syntax:

`dscli testAlert Component Target`

Description:

コンポーネントに通報テストを実行させます。BMC の種類によってサポートしているパラメータが異なります。

通報テストの結果は 2.2.30 `getTestAlertStatus` で確認してください。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Target

通報先を指定します。以下の数値によって通報先の指定を行います。

LAN1_1 (または 0): LAN1 1 次通報先
LAN1_2 (または 1): LAN1 2 次通報先
LAN1_3 (または 2): LAN1 3 次通報先
LAN2_1 (または 3): LAN2 1 次通報先
LAN2_2 (または 4): LAN2 2 次通報先
LAN2_3 (または 5): LAN2 3 次通報先
PPP1_1 (または 6): PPP1 1 次通報先
PPP1_2 (または 7): PPP1 2 次通報先
PPP1_3 (または 8): PPP1 3 次通報先
PPP2_1 (または 9): PPP2 1 次通報先
PPP2_2 (または 10): PPP2 2 次通報先
PPP2_3 (または 11): PPP2 3 次通報先
Pager1 (または 12): Pager 1 次通報先
Pager2 (または 13): Pager 2 次通報先
SNMP1 (または 14): SNMP 1 次通報先
SNMP2 (または 15): SNMP 2 次通報先
SNMP3 (または 16): SNMP 3 次通報先
MAIL1 (または 17): メール 宛先 1
MAIL2 (または 18): メール 宛先 2
MAIL3 (または 19): メール 宛先 3

2.2.30 getTestAlertStatus

Syntax:

`dscli getTestAlertStatus Component Target`

Description:

通報テストの実行状態を取得して表示します。BMC の種類によってサポートしているパラメータが異なります。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Target

状態を取得する通報先を指定します。通報先の指定については 2.2.29 testAlert を参照してください。

Output:

通報テストの実行状態を表示します。実行状態には以下の種類があります。

| | |
|------------------|------------------|
| TEST_UNKNOWN | :不明 |
| TEST_TESTING | :通報中 |
| TEST_SUCCESS | :通報終了(正常終了) |
| TEST_ABORT | :通報失敗(異常終了) |
| TEST_CALL_FAILED | :通報失敗(ダイヤルアップ失敗) |
| TEST_TIMEOUT | :通報失敗(タイムアウト) |
| TEST_ERROR | :通報失敗(その他エラー) |

通報中の場合の表示例を示します。

| |
|--------------|
| TEST_TESTING |
|--------------|

2.2.31 getServerStatus

Syntax:

```
dscli getServerStatus Component
```

Description:

指定されたコンポーネントの状態を表示します。
コンポーネント監視機能で、コンポーネントの状態を確認します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

コンポーネントの状態には以下の種類があります。

| | |
|---------------|----------|
| ERROR | 異常 |
| WARNING | 警告 |
| UNKNOWN | 不明、通信エラー |
| DC-OFF | DC-OFF |
| NORMAL | 正常 |
| NO_MONITORING | 監視対象外 |

2.2.32 getPowerStatus

Syntax:

```
dscli getPowerStatus Component
```

Description:

コンポーネントの電源状態を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

電源状態を表示します。電源状態は以下の 2 種類です。

| | |
|--------|-------|
| DC_ON | パワーオン |
| DC_OFF | パワーオフ |

2.2.33 getStatusLamp

Syntax:

```
dscli getStatusLamp Component
```

Description:

指定されたコンポーネントの STATUS ランプの状態を取得して表示します。

フォールト・トレラント・サーバの場合、システム FAULT ランプの状態を表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

コンポーネントの STATUS ランプの状態を表示します。STATUS ランプの状態は以下の 7 種類です。

| | |
|-------------|--------|
| OFF | 消灯 |
| GREEN_ON | 緑点灯 |
| GREEN_BLINK | 緑点滅 |
| AMBER_ON | アンバー点灯 |
| AMBER_BLINK | アンバー点滅 |
| RED_ON | 赤点灯 |
| RED_BLINK | 赤点滅 |

2.2.34 getPanellInfo

Syntax:

```
dscli getPanelInfo Component [/x ModuleNo]
```

Description:

コンポーネントのフロントパネル情報として、電源状態、STATUS ランプ、LCD、ウォッチドッグタイマのシステム監視状態、システム通電累積時間を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。ModuleNo を指定しない場合は CPU/IO モジュール 0 の状態を取得します。

Output:

フロントパネル情報を表示します。表示例を示します。

| | |
|-------------------|-------------------|
| Power Status | : SO_GO |
| STATUS Lamp | : GREEN_ON |
| LCD0 | : Prepare To Boot |
| LCD1 | : |
| Watchdog Status | : STARTED |
| Watchdog Use | : SMS_OS |
| Watchdog Interval | : 10 sec |
| POH | : 262920 min |
| : | : |

2.2.35 powerOn

Syntax:

`dscli powerOn Component [/p]`

Description:

コンポーネントの電源を ON にします。

また、コンポーネントが **POWER** スイッチによって回復するスリープ状態にある場合は、このコマンドによりスリープ状態から回復できます。

.....
重要：

- コンポーネントが強制ネットワークブート機能（ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能）をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。
 - 電源ベイの場合、電源制御操作は電源ベイ自体に対しては行われません。電源ベイに搭載されているメンテナンスカードの電源制御が行われます。
-

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/p

“/p”を指定すると、電源 ON 後、ネットワークブートを行います。

2.2.36 powerOff

Syntax:

```
dscli powerOff Component
```

Description:

コンポーネントの電源を強制的に OFF にします。

重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
- 電源ベイの場合、電源制御操作は電源ベイ自体に対しては行われません。電源ベイに搭載されているメンテナンスカードの電源制御が行われます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

2.2.37 reset

Syntax:

```
dscli reset Component [/p]
```

Description:

コンポーネントを強制的にリセットします。

重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
- コンポーネントが強制ネットワークブート機能（ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能）をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。
- 電源ベイの場合、電源制御操作は電源ベイ自体に対しては行われません。電源ベイに搭載されているメンテナンスカードの電源制御が行われます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/p

“/p”を指定すると、リセット後、ネットワークブートを行います。

2.2.38 powerCycle

Syntax:

`dscli powerCycle Component [/p]`

Description:

コンポーネントの電源を強制的に OFF にした後、ON にします。

.....
重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
 - コンポーネントが強制ネットワークブート機能（ブート順位に関わらずネットワークからブートする機能）をサポートしていない場合はネットワークブートを実行できません。「ESMPRO/ServerManager コンポーネント一覧」でご確認ください。
 - 電源ベイの場合、電源制御操作は電源ベイ自体に対しては行われません。電源ベイに搭載されているメンテナンスカードの電源制御が行われます。
-

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/p

“/p”を指定すると、リセット後、ネットワークブートを行います。

2.2.39 shutdownOs

Syntax:

```
dscli shutdownOs Component [/force]
```

Description:

コンポーネント上の OS をシャットダウンします。

LAN 経由で実行する場合は、コンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに実行できます。ダイレクト接続またはモデム経由接続で実行する場合は、ESMPRO/ServerAgent に OS シャットダウンを指示します。

“/force”オプションを指定した場合は、接続形態に関わらず、強制シャットダウンを行います。このとき ESMPRO/ServerAgent Extension または ESMPRO/ServerAgent とは通信を行いません。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/force

“/force”を指定すると、強制シャットダウンを実行します。

OS の種類や設定によっては正しくシャットダウンされない可能性があります。

2.2.40 dumpSwitch

Syntax:

```
dscli dumpSwitch Component
```

Description:

コンポーネントの DUMP スイッチを入れます。

.....
重要：

- コンポーネント上の OS 状態に関わらずハードウェアで制御を行うため、システム破壊の可能性があります。コンポーネントの状態を確認の上、実行してください。
-

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

2.2.41 clearSel

Syntax:

```
dscli clearSel Component [/force]
```

Description:

コンポーネントのシステムイベントログ(SEL)領域をクリアします。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/force

“force”を指定すると、コンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent の自動バックアップサービスが動作している場合も、SEL 領域をクリアします。

2.2.42 identifyChassis

F

Syntax:

```
dscli identifyChassis Component Period
```

Description:

コンポーネントの筐体識別ランプを点灯させます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Period

点灯時間を秒単位で指定します。0-255 の範囲で指定してください。

2.2.43 getIpmiInfo

Syntax:

```
dscli getIpmiInfo Component FileName [/x ModuleNo]
```

Description:

IPMI 情報を取得し、指定されたファイル名で保存します。

今回読み込まない種類の情報について、ESMPRO/ServerManager が以前に読み込んだ情報を保持している場合は、合わせてファイルに保存します。

.....
ヒント:

- 取得した IPMI 情報保存ファイルは、ESMPRO/ServerManager に Web ブラウザ上でログインし、ヘッダメニューの「ツール」より、アップロードして参照できます。
-

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

FileName

取得した情報を保存するファイル名(パス名)を指定します。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。ModuleNo を指定しない場合は CPU/IO モジュール 0 の情報を取得します。

2.2.44 getSensorList

Syntax:

```
dscli getSensorList Component [/x ModuleNo]
```

Description:

あらかじめ2.2.43 getIpmiInfoを実行してください。getIpmiInfo コマンドで取得したセンサ情報(SDR)から、現在の状態を取得可能なセンサの一覧を作成して表示します。一覧の先頭に、各センサの SDR レコード ID が表示されます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。ModuleNo を指定しない場合は CPU/IO モジュール 0 の情報を取得します。

Output:

センサの一覧を表示します。表示例を示します。

| | | |
|--------|--|------------------------|
| 0001h: | Sensor Type=Temperature(Front Panel Temp), | Owner=Basbrd Mgmt Ctlr |
| 0002h: | Sensor Type=Temperature(Baseboard Temp), | Owner=Basbrd Mgmt Ctlr |
| 0003h: | Sensor Type=Temperature(Processor 1 Temp), | Owner=Basbrd Mgmt Ctlr |
| 0004h: | Sensor Type=Temperature(Processor 2 Temp), | Owner=Basbrd Mgmt Ctlr |
| 0005h: | Sensor Type=Temperature(PwrDstBd Temp), | Owner=Basbrd Mgmt Ctlr |
| : | | |

2.2.45 getSensorStatus

Syntax:

```
dscli getSensorStatus Component RecordId [/x ModuleNo]
```

Description:

コンポーネント上の指定されたセンサの状態を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

RecordId

2.2.44 getSensorListにより表示されたセンサー一覧から、SDR レコード ID を指定します。

/x ModuleNo

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合に CPU/IO モジュールの番号 (0 または 1) を指定します。ModuleNo を指定しない場合は CPU/IO モジュール 0 の状態を取得します。

Output:

センサの状態を表示します。表示例を示します。

```
Current Value:
  30.00 degrees C
Current Status:
  Normal
Upper non-recoverable Threshold:
  ---
Upper critical Threshold:
  46.00 degrees C (Hysteresis:44.00 degrees C)
Upper non-critical Threshold:
  43.00 degrees C (Hysteresis:41.00 degrees C)
Lower non-critical Threshold:
  3.00 degrees C (Hysteresis:5.00 degrees C)
Lower critical Threshold:
  0.00 degrees C (Hysteresis:2.00 degrees C)
Lower non-recoverable Threshold:
  ---
```

2.2.46 getConsoleLog

Syntax:

`dscli getConsoleLog Component`

Description:

コンポーネントのコンソールログを表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

コンソールログを表示します。

2.2.47 setBmcIpSync

Syntax:

`dscli setBmcIpSync Component Value`

Description:

コンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent Extension の BMC IP アドレス同期設定(BMC が標準 LAN ポートを使用するコンポーネントの場合、OS 上に設定されている IP アドレスと BMC コンフィグレーションの IP アドレスを定期的に比較し、異なるときは BMC の IP アドレスを変更する機能)の有効/無効を変更します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Value

同期設定の有効/無効を指定します。

| | |
|---|----|
| 0 | 無効 |
| 1 | 有効 |

ヒント:

- BMC が専用 LAN ポート（管理 LAN 用ポート）を使用するコンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent Extension に対してこのコマンドを発行した場合、コマンドは正常終了しますが、何も設定されません。
-

2.2.48 getBmcIpSync

Syntax:

```
dscli getBmcIpSync Component
```

Description:

コンポーネント上の ESMPRO/ServerAgent Extension の BMC IP アドレス同期設定(BMC が標準 LAN ポートを使用するコンポーネントの場合、OS 上に設定されている IP アドレスと BMC コンフィグレーションの IP アドレスを定期的に IP アドレスを比較し、異なるときは BMC の IP アドレスを変更する機能)の有効／無効を取得して表示します。このコマンドはコンポーネント上で ESMPRO/ServerAgent Extension のサービスが動作しているときに LAN 経由で実行できます。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

同期設定の有効／無効を表示します。

| | |
|---------|----|
| Enable | 有効 |
| Disable | 無効 |

表示例を示します。

```
Agent Config (BMC IP Sync) : Enable
```

2.2.49 getBladeSlotId

Syntax:

```
dscli getBladeSlotId Component
```

Description:

あらかじめ2.2.43 getIpmiInfoを実行してください。コンポーネントがブレードサーバの場合、ブレードが格納されている筐体（ブレード収納ユニット）を識別するための筐体 ID、および筐体内の実装位置を示すスロット ID を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

筐体 ID およびスロット ID を表示します。表示例を示します。

```
Enclosure ID: 0040000000
Slot ID:      2
```

2.2.50 deleteBmcUser

Syntax:

```
dscli deleteBmcUser Component UserId
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーションに設定されているユーザアカウント情報を削除します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

UserId

BMC を利用するユーザに割り付けられている番号(1~12)を指定します。

2.2.51 getBmcUserList

Syntax:

```
dscli getBmcUserList Component
```

Description:

コンポーネントの BMC コンフィグレーションに設定されているユーザアカウント情報の一覧を表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

表示例を示します。

| | |
|-----------|-----------------|
| No. 1 | |
| User | : true |
| User Name | : USERNAME1 |
| Privilege | : Administrator |
| No. 2 | |
| User | : true |
| User Name | : USERNAME2 |
| Privilege | : Operator |
| No. 3 | |
| User | : false |
| User Name | : USERNAME3 |
| Privilege | : User |

2.2.52 setBmcUserInfo

Syntax:

`dscli setBmcUserInfo Component UserId KeyName Value`

Description:

BMC コンフィグレーションのユーザアカウント情報を変更します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

UserId

BMC を利用するユーザに割り付けられている番号(1~12)を指定します。

KeyName

変更するユーザアカウント情報項目を示すキー名を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| KeyName | 意味 | Value |
|----------------|-----------|------------------------------------|
| USER | ユーザ | 0: 無効 1: 有効 |
| USER_NAME | ユーザアカウント名 | 15 文字まで(*1) |
| USER_PASSWORD | パスワード | 19 文字まで(*2) |
| USER_PRIVILEGE | 権限 | 0: ユーザ 1: オペレータ 2: アドミニストレータ |

(*1) 半角英数字と「-」、「_」のみ使用可能。但し「-」はユーザアカウント名の先頭には使用できません。

(*2) 「(空白)」、「“」、「&」、「?」、「=」を除く ASCII 文字列のみ使用可能。

2.2.53 getBmcUserInfo

Syntax:

`dscli getBmcUserInfo Component UserId`

Description:

BMC コンフィグレーションのユーザアカウント情報を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

UserId

BMC を利用するユーザに割り付けられている番号(1~12)を指定します。1 ~12 のうち、未登録ユーザ ID が指定された場合、全て空白で表示します。

Output:

表示例を示します。

| | |
|----------------|-------------|
| USER | : true |
| USER NAME | : USERNAME2 |
| USER_PRIVILEGE | : Operator |

2.2.54 setPowerRestorePolicy

Syntax:

`dscli setPowerRestorePolicy Component Policy`

Description:

コンポーネントが AC ON されたときの動作を指定する AC-LINK 設定を変更します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Policy

AC-LINK を設定します。Policy に設定可能な値は 3 種類です。

STAY_OFF AC ON 時、DC OFF 状態になります。

LAST_STATE DC OFF 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DC OFF 状態になります。

DC ON 中に AC OFF された場合は、AC ON 時、DelayTime で指定された時間後に DC ON 状態になります。

POWER_ON AC ON 時、DelayTime で指定された時間後に DC ON 状態になります。

2.2.55 getPowerRestorePolicy

Syntax:

`dscli getPowerRestorePolicy Component`

Description:

コンポーネントが AC ON されたときの動作を指定する AC-LINK 設定の内容を取得して表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

表示例を示します。

| | |
|--------|------------|
| Policy | : STAY_OFF |
|--------|------------|

2.2.56 getSystemFtLamp

Syntax:

`dscli getSystemFtLamp Component`

Description:

コンポーネントがフォールト・トレラント・サーバの場合、システム FT ランプの状態を表示します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

Output:

システム FT ランプの状態を表示します。システム FT ランプの状態には以下の種類があります。

| | |
|-------------|--------------------|
| GREEN_ON | 緑点灯(Duplex) |
| GREEN_BLINK | 緑点滅(スプリットモード) |
| OFF | 消灯(電源 OFF または片系動作) |

2.3 EM カード管理系コマンド

以下のコンポーネント管理系コマンドは EM カードに対しても実行できます。但し、オプション名 Component に MAC アドレスを指定することはできません。

```
getServerNameByGuid  
findNewServer  
findNewServerNetAddr  
createServer  
deleteServer  
checkConnection  
setServerProperty  
getServerProperty  
getServerInfo  
getDeviceId  
getGuid  
getServerStatus
```

2.3.1 getEmCardList

Syntax:

```
dscli getEmCardList [/d]
```

Description:

ESMPRO/ServerManager 上に登録された EM カードの一覧を表示します。

Options:

/d

“/d”を指定すると、EM カード一覧に、EM カード名の他 GUID を表示します。

Output:

ESMPRO/ServerManager 上に登録された EM カードの一覧を表示します。

(“/d”オプションを指定しない場合)

| |
|--------|
| EM0001 |
| EM0002 |

(“/d”オプションを指定した場合)

| |
|---|
| EM0001 |
| GUID 01b21dd2:1dd2:11b2:2fa4:003013630cc5 |
| EM0002 |
| GUID 01b21dd2:1dd2:11b2:49bd:003013630cc0 |

2.3.2 getEmActiveState

Syntax:

```
dscli getEmActiveState EmCard
```

Description:

指定された EM カードの、アクティブ/スタンバイの状態を表示します。

Options:

EmCard

EM カードの名前を指定します。

Output:

| | |
|---------|-------|
| Active | アクティブ |
| Standby | スタンバイ |

2.3.3 identifyEm

Syntax:

```
dscli identifyEm EmCard [/x SwmSlotNumber]
```

Description:

指定された EM カード、または EM カードが管理するスイッチモジュールの筐体識別ランプを 15 秒間点灯させます。EM カードがアクティブな場合のみ実行できます。

Options:

EmCard

EM カードの名前を指定します。

/x SwmSlotNumber

EM カードが管理するスイッチモジュールの筐体識別ランプを点灯させたい場合に、スロット番号を指定してください。

2.3.4 getEmStatusLamp

Syntax:

```
dscli getEmStatusLamp EmCard [/x SwmSlotNumber]
```

Description:

指定された EM カード、または EM カードが管理するスイッチモジュールの STATUS ランプの状態を取得して表示します。

Options:

EmCard

EM カードの名前を指定します。

/x SwmSlotNumber

EM カードが管理するスイッチモジュールの STATUS ランプを取得したい場合に、スイッチモジュールのスロット番号を指定します。スイッチモジュールの STATUS ランプ状態取得は、EM カードがアクティブな場合のみ実行できます。

Output:

STATUS ランプの状態を表示します。STATUS ランプの状態は以下の通りです。

| | |
|-------------|--------|
| GREEN_ON | 緑点灯 |
| GREEN_BLINK | 緑点滅 |
| AMBER_BLINK | アンバー点滅 |
| RED_BLINK | 赤点滅 |

2.4 筐体管理系コマンド

2.4.1 getBladeEnclosureList

Syntax:

```
dscli getBladeEnclosureList
```

Description:

ESMPRO/ServerManager 上に登録されているコンポーネントまたは EM カードが搭載されているブレード収納ユニットの一覧を表示します。

筐体に複数のコンポーネントが存在するシステムも一覧に含みます。

Output:

コンポーネントまたは EM カードが搭載されているブレード収納ユニットの一覧を表示します。

2.4.2 getChassisSlotState

Syntax:

```
dscli getChassisSlotState ChassisName
```

Description:

指定された筐体がブレード収納ユニットの場合、各ブレードスロットの実装状態を表示します。EMカード、およびスイッチモジュールが搭載されている筐体の場合は、EMカードおよびスイッチモジュールの一覧も表示します。

指定された筐体に複数のコンポーネントがあるシステムの場合、各コンポーネントの実装状態を表示します。

Options:

ChassisName

筐体名を指定します。

Output:

| 表示内容 | 説明 | |
|--------|---|---|
| スロット番号 | スロット番号を示します。 搭載されているブレードが 2 枚幅か高さの場合は、複数のスロット番号を表示します。 | |
| 実装状態 | コンポーネント名 | スロットに実装されている、かつ ESMPRO/ServerManager 上にコンポーネント登録されている場合に表示します。 ブレードの幅 2 の場合は、コンポーネント名に続けて (Double-wide) と表示します。 ブレードの高さ 2 の場合は、コンポーネント名に続けて (Full-height) と表示します。 |
| | Installed | スイッチモジュールがスロットに実装されている場合に表示します。 |
| | Not registered | スロットに実装されている、かつ ESMPRO/ServerManager 上にコンポーネント登録されていない場合に表示します。 |
| | Not installed | スロットに実装されていない場合に表示します。 |
| | (空白) | 「未登録」と「未実装」を判別できない場合、何も表示しません。 |

表示例を示します。

```
CPU Blade:
1: SERVER_0001
2: SERVER_0002
3, 4: SERVER_0003 (Double-wide)
5: Not installed
6: Not registered
7: Not installed
8: Not registered

EM Card:
1. EM0001
2. EM0002

Switch Module:
1: Installed
2: Installed
3: Not installed
4: Not installed
5: Not installed
6: Not installed
```

2.4.3 getChassisInfo

Syntax:
dscli getChassisInfo ChassisName

Description:
指定された筐体の情報を表示します。

Options:
ChassisName
 筐体の名前を指定します。

Output:
指定された筐体の情報を表示します。

| 項目名 | 意味 |
|---------------|--|
| Chassis Name | 筐体の名前です。 |
| Comments | 筐体についての説明です。 |
| Rack Name | ラックの名前です。EM カードを搭載している筐体の場合に表示されます。 |
| Rack ID | ラック ID です。EM カードを搭載している筐体の場合に表示されます。 |
| Unit Name | ブレード収納ユニット名です。EM カードを搭載している筐体の場合に表示されます。 |
| Serial Number | 筐体識別用のシリアル番号です。 |

2.4.4 setChassisProperty

Syntax:

```
dscli setChassisProperty ChassisName PropertyName Value
```

Description:

指定された筐体の筐体プロパティを設定します。

Options:

ChassisName

筐体の名前を指定します。

PropertyName

設定するプロパティの名前を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| PropertyName | 意味 | Value |
|-----------------|-------------|----------|
| CHASSIS_NAME | 筐体の名前です。 | 32 文字まで |
| CHASSIS_COMMENT | 筐体についての説明です | 100 文字まで |

.....
ヒント:

- CHASSIS_NAME に既に登録されている筐体の名前は指定できません。
-

2.4.5 getChassisProperty

Syntax:

```
dscli getChassisProperty ChassisName PropertyName
```

Description:

指定された筐体の筐体プロパティを表示します。

Options:

ChassisName

筐体の名前を指定します。

PropertyName

取得するプロパティの名前を指定します。筐体プロパティの一覧は2.4.4 setChassisPropertyを参照してください。

Output:

指定された筐体プロパティを表示します。

2.4.6 setBladeAutoSetting

Syntax:

```
dscli setBladeAutoSetting ChassisName SlotNumber PropertyName Value
```

Description:

このコマンドは EM カードを搭載可能な筐体に対してのみ有効です。

筐体に新しく CPU ブレードが実装されたことを検出したときに、CPU ブレード上の BMC のコンフィグレーションと ESMPRO/ServerManager 上へのコンポーネント登録を自動的に行うための情報を設定します。

Options:

ChassisName

筐体名を指定します。

SlotNumber

CPU ブレードのスロット番号を指定します。全スロットに共通の値を設定する場合は”all”を指定します。

PropertyName

設定するプロパティの名前を指定します。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| PropertyName | 意味 | Value |
|---------------------------|---|-----------|
| AUTH_KEY | 認証キーを指定します。 | 16 文字まで |
| RECONFIGURE_BMC | 有効に設定すると、新しく挿入された CPU ブレードだけでなく、既に実装を確認している CPU ブレードについても、BMC コンフィグレーションを行います。無効に設定すると、再コンフィグレーションを行いません。 | 0:無効、1:有効 |
| REWRITE_IP_ADDRESS | CPU ブレードの BMC コンフィグレーションが実施されていない場合も BMC が DHCP サーバから IP アドレスを取得する機能により IP アドレスだけが設定されている場合があります。この項目を有効に設定すると、BMC コンフィグレーション実施時に、必ず指定された値に更新します。 | 0:無効、1:有効 |
| DHCP | IP アドレスを BMC が DHCP から自動的に取得します。 | 0:無効、1:有効 |
| IP_ADDRESS | CPU ブレードに設定する BMC の IP アドレスを指定します。一括設定の場合は、先頭のスロットから順に、指定された IP アドレスから連続した IP アドレスを設定します。 | IP アドレス形式 |
| SUBNET_MASK | サブネットマスクを指定します。 | IP アドレス形式 |
| DEFAULT_GATEWAY | デフォルトゲートウェイを指定します。 | IP アドレス形式 |
| ALERT_RECEIVER_IP_ADDRESS | BMC の 1 次通報先/管理用 PC の IP アドレスを指定します。 | IP アドレス形式 |

2.4.7 getBladeAutoSetting

Syntax:

`dscli getBladeAutoSetting ChassisName SlotNumber`

Description:

このコマンドは EM カードを搭載可能な筐体に対してのみ有効です。
筐体に新しく CPU ブレードが実装されたことを検出したときに、CPU ブレード上の BMC コンフィグレーションと ESMPRO/ServerManager 上へのコンポーネント登録を自動的に行うための情報を表示します。各情報の詳細は2.4.6setBladeAutoSettingを参照してください。

Options:

ChassisName

筐体名を指定します。

SlotNumber

CPU ブレードのスロット番号を指定します。

Output:

情報を表示します。

```
RECONFIGURE_BMC : Disable
REWRITE IP ADDRESS:Disable
DHCP:Enable
ALERT_RECEIVER_IP_ADDRESS:192.168.14.18
```

2.5 通信管理系コマンド

2.5.1 connect

Syntax:

```
dscli connect Component
```

Description:

コンポーネントとの接続形態に従って、コンポーネントにダイレクト接続またはモデム経由で接続します。

Options:

Component

コンポーネントの名前、BMC が使用する LAN ポートの MAC アドレス、または GUID を指定します。

2.5.2 disconnect

Syntax:

```
dscli disconnect
```

Description:

現在接続中の回線を切断します。

2.5.3 getConnectionStatus

Syntax:

```
dscli getConnectionStatus
```

Description:

ダイレクト接続またはモデム経由接続の接続状態と接続中のコンポーネント名を表示します。

Output:

接続状態を表示します。接続状態には以下の 8 種類があります。

| | |
|--------------------|------------|
| CONNECTING | 接続中 |
| CONNECTED | 接続完了 |
| DISCONNECTING | 切断中 |
| DISCONNECTED | 切断完了 |
| CONNECTION_FAILURE | 接続失敗 |
| NO_CARRIER | 回線切断 |
| BUSY | 話中音検出 |
| NO_DIALTONE | ダイヤルトーン未検出 |

2.6 環境設定系コマンド

2.6.1 setOption

Syntax:

dscli setOption *OptionName* *Value*

Description:

ESMPRO/ServerManager の動作を制御する環境設定項目を設定します。

Options:

OptionName

設定するオプションパラメータの名前です。一覧を参照してください。

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| OptionName | 意味 | Value | 初期値 |
|----------------------------------|---|--|-------|
| BMC_RETRY_COUNT | コンポーネント上の BMC との通信のリトライ回数です。 | 0-10 | 5 |
| BMC_TIMEOUT | コンポーネント上の BMC との通信をリトライする間隔を秒単位で表します。 | 1-15 | 5 |
| BMC_SOURCE_PORT | BMC との通信に使用する UDP ポート番号です。 | 1025-65535 | 47117 |
| CUI_NO_RESPONSE_TIMEOUT | リモートコンソール接続が通信のタイムアウトにより切断されるまでの秒数です。 | 20-1800 | 60 |
| CUI_SYS_RQ_KEY | CUI リモートコンソール接続で使用する SysRq キーのエイリアスキーです。 | "": 指定なし "Q":Ctrl+Alt+Q "X":Ctrl+Alt+X | "" |
| HISTORY_LOG_NUMBER_OF_RECORDS | アプリケーションログの最大件数です。 | 2000-10000 | 2000 |
| MODEM_PORT_NUMBER | 管理コンポーネントにダイレクト接続するときに使用する Manager コンポーネントのシリアルポート番号です。 | 1-8 | 1 |
| MONITORING_ENABLE | コンポーネント監視機能の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 1 |
| MONITORING_AUTO_UPDATE_INTERVAL | Web ブラウザ上で ESMPRO/ServerManager を操作する際に、コンポーネント状態の表示を自動更新する機能の、自動更新間隔を秒単位で表します。 | 1-60 | 5 |
| RC_POWER_CONTROL_INTERVAL_MILLIS | 複数コンポーネントの電源制御を連続して行う際の実行間隔をミリ秒単位で表します。 | 0-5000 | 500 |
| RMI_PORT | RMI 通信に使用する TCP ポート番号です。 | 1024 - 65535 | 1099 |

2.6.2 getOption

Syntax:

```
dscli getOption OptionName
```

Description:

ESMPRO/ServerManager の動作を制御する環境設定項目を表示します。

Options:

OptionName

取得するオプションパラメータの名前です。オプションパラメータの一覧については2.6.1 `setOption` を参照してください。

Output:

指定した環境設定項目の値を表示します。

2.6.3 getPermitIpAddrList

Syntax:

```
dscli getPermitIpAddrList
```

Description:

ESMPRO/ServerManager へのログインを許可する IP アドレス範囲の一覧を表示します。
設定された IP アドレス範囲にある Web クライアントだけが ESMPRO/ServerManager にログインできます。

Output:

IP アドレス範囲の一覧を表示します。表示例を示します。

| |
|------------------------------------|
| No. 1: 192.168.0.1 - 192.168.0.254 |
| No. 2: 192.168.1.10 |
| No. 3: 192.168.2.10 |

2.6.4 isPermitIpAddr

Syntax:

```
dscli isPermitIpAddr CheckIpAddr
```

Description:

指定した Web クライアントの IP アドレスがログインを許可された IP アドレスかどうかを表示します。

Options:

CheckIpAddr

IP アドレスを指定します。

Output:

指定した IP アドレスがログイン許可する IP アドレスかどうかを表示します。

| | |
|----|-------|
| OK | 許可する |
| NG | 許可しない |

2.6.5 addPermitIpAddr

Syntax:

```
dscli addPermitIpAddr StartIpAddr [EndIpAddr]
```

Description:

ESMPRO/ServerManager へのログインを許可する IP アドレス範囲を追加します。
設定された IP アドレス範囲にある Web クライアントだけが ESMPRO/ServerManager にログインできます。

.....
ヒント :

- ESMPRO/ServerManager を起動している Manager コンポーネント上の Web ブラウザからは、アクセス制限に関わらず、ログインできます。
-

Options:

StartIpAddr

ログインを許可する IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを指定します。

EndIpAddr

ログインを許可する IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを指定します。このオプションを省略した場合は StartIpAddr で指定した IP アドレスが単独で追加登録されます。

2.6.6 removePermitIpAddr

Syntax:

```
dscli removePermitIpAddr StartIpAddr [EndIpAddr]
```

Description:

ログインを許可する Web クライアントの IP アドレス範囲を削除します。

Options:

StartIpAddr

開始 IP アドレスを指定します。

EndIpAddr

終了 IP アドレスを指定します。

2.6.7 clearPermitIpAddr

Syntax:

```
dscli clearPermitIpAddr
```

Description:

ログインを許可する Web クライアントの IP アドレス範囲を全て削除します。

2.7 ユーザ管理系コマンド

2.7.1 createUser

Syntax:

```
dscli createUser UserName Password
```

Description:

Web ブラウザで ESMPRO/ServerManager を利用するためのユーザを登録します。登録されるユーザの権限はオペレータとなります。最大 30 ユーザまで作成することができます。

Options:

UserName

新しいユーザ名を指定します。最大 16 文字までの名前を入力できます。

Password

6～16 文字までのパスワードを指定します。

.....
ヒント :

- *UserName* に既に登録されているユーザの名前は指定できません。
-

2.7.2 deleteUser

Syntax:

```
dscli deleteUser UserName
```

Description:

Web ブラウザで ESMPRO/ServerManager を利用するためのユーザの登録を削除します。

Options:

UserName

ユーザの名前を指定します。

2.7.3 getUserList

Syntax:

```
dscli getUserList
```

Description:

登録されているユーザの名前、ユーザ権限の一覧を表示します。ユーザ権限の種別にはアドミニストレータとオペレータがあります。

Output:

表示例を示します。

| | |
|-------|---------------|
| Admin | Administrator |
| User1 | Operator |
| User2 | Operator |
| : | |
| : | |
| : | |

2.7.4 setUserProperty

Syntax:

```
dscli setUserProperty UserName PropertyName Value
```

Description:

指定されたユーザのユーザプロパティを設定します。

Options:

UserName

ユーザの名前を指定します。

PropertyName

設定するプロパティの名前を指定します。一覧を参照してください。

実行権限の変更はオペレータ権限のユーザについて有効です。

○：変更可能、×：変更不可能

Value

新たに設定する値を指定します。一覧を参照してください。

| PropertyName | 意味 | Value | 初期値 | アドミニストレータ | オペレータ |
|-------------------------|------------------------------------|----------------|-----|-----------|-------|
| USER_NAME | ユーザ名です。 | 16 文字まで | 空白 | ○ | ○ |
| USER_PASSWORD | ログインパスワードです。 | 6～16 文字まで | 空白 | ○ | ○ |
| USER_COMMENT | ユーザに関する説明です。 | 100 文字まで | 空白 | ○ | ○ |
| UL_POWER_ON | パワーON の実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_POWER_OFF | パワーOFF の実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_RESET | リセットの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_POWER_CYCLE | パワーサイクルの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SHUTDOWN | OS シャットダウンの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_DUMP | DUMP スイッチの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SEL_CLEAR | システムイベントログ領域のクリアの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_BMC_REMOTE | BMC 設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_CONFIG_CREATE | コンポーネント追加の実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_CONFIG_CHANGE_DELETE | 接続設定の編集、コンポーネント削除の実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_REMOTE_CONSOLE | リモートコンソールの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SCHEDULE | スケジュール設定の実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_REMOTE_BATCH | リモートバッチの実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |

| PropertyName | 意味 | Value | 初期値 | アドミニストレータ | オペレータ |
|-------------------------------|--|----------------|-----|-----------|-------|
| UL_SET_POWER_RESTORE_DELAY | 電源オプション設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SET_AGENT_SETTING | Agent 設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SET_CONSOLE_LOG | コンソールログ設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SET_ENVIRONMENT_OPTION | 環境設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SET_BLADE_AUTO_SETTING | CPUブレード自動登録設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_ELECTRIC_POWER_MONITORING | 電力管理の測定開始・中止の設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_SET_SERVER_DOWN_MONITORING | 死活監視設定を変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |
| UL_MODULE_UPDATE_MAINTENANCE | CPU/PCI モジュールのメンテナンス／アップデートを変更する実行権限の有効／無効を示します。 | 0: 無効 1: 有効 | 0 | × | ○ |

.....
ヒント:

- USER_NAME に既に登録されているユーザの名前は指定できません。
-

2.7.5 getUserProperty

Syntax:

```
dscli getUserProperty UserName PropertyName
```

Description:

指定されたユーザのユーザプロパティを表示します。

Options:

UserName

ユーザの名前を指定します。

PropertyName

取得するプロパティの名前を指定します。ユーザプロパティの一覧については2.7.4 `setUserProperty`を参照してください。ただし、「USER_PASSWORD」は表示できません。

Output:

指定されたユーザプロパティを表示します。

2.8 その他のコマンド

2.8.1 getApplicationLog

Syntax:

dscli getApplicationLog *[Number]*

Description:

最新のアプリケーションログを、*Number* で指定した件数表示します。

Options:

Number

表示するログの件数を指定します。このオプションを省略した場合は、最新の 10 件を表示します。

Output:

アプリケーションログを表示します。アプリケーションログは 1 行に日付・コンポーネント名・OS IP アドレス・BMC IP アドレス・ユーザ名・イベント内容の順で表示します。

2.8.2 about

Syntax:

dscli about

Description:

ESMPRO/ServerManager のバージョン情報を表示します。

Output:

ESMPRO/ServerManager のバージョン情報を表示します。

2.8.3 help

Syntax:

dscli help *[CommandName]*

Description:

ヘルプを表示します。*CommandName* オプション が指定されていない場合はコマンド一覧を、*CommandName* オプション が指定されている場合は指定されたコマンドのヘルプを表示します。

Options:

CommandName

ヘルプを表示したいコマンド名を入力します。

Output:

コマンド一覧または指定されたコマンドのヘルプを表示します。

付録 A BMC（その他）および iLO のサポートコマンド一覧

BMC（その他）および iLO を搭載したコンポーネントに対して、ESMPRO/ServerManager コマンドラインインターフェースにて、以下のコマンドセットを実行できます。

なお、BMC（その他）および iLO を搭載したコンポーネントについては、「ESMPRO/ServerManager Ver.6 セットアップガイド」を参照してください。

○：サポート、—：未サポート

| コマンド | BMC（その他） | | iLO |
|----------------------------------|----------|-----|-----|
| | BMC | CMC | |
| 2.1.1 getList | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.2 createGroup | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.3 deleteGroup | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.4 moveGroup | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.5 setGroupProperty | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.6 getGroupProperty | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.7 getGroupStatus | ○ | ○ | ○ |
| 2.1.8 groupPowerOn | ○ | — | — |
| 2.1.9 groupPowerOff | ○ | — | — |
| 2.1.10 groupReset | ○ | — | — |
| 2.1.11 groupPowerCycle | ○ | — | — |
| 2.1.12 groupShutdownOs | ○ (*1) | — | — |
| 2.1.13 groupSetPowerRestoreDelay | — | — | — |
| 2.1.14 groupGetRemoteKvmLicense | — | — | — |
| 2.2.1 getServerList | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.2 getServerNameByMacAddr | ○ | ○ | — |
| 2.2.3 getServerNameByGuid | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.4 findNewServer | — | — | — |
| 2.2.5 findNewServerNetAddr | — | — | — |
| 2.2.6 createServer | — | — | — |
| 2.2.7 deleteServer | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.8 checkConnection | ○ | ○ | — |
| 2.2.9 setServerProperty | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.10 moveServer | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.11 getServerGroup | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.12 setCurrentPort | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.13 getServerProperty | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.14 getServerInfo | ○ | ○ | — |
| 2.2.15 getDeviceId | ○ | ○ | — |
| 2.2.16 getGuid | ○ | ○ | ○ |
| 2.2.17 getProductName | ○ | ○ | — |
| 2.2.18 getSoftwareInfo | — | — | — |
| 2.2.19 setShutdownPolicy | — | — | — |
| 2.2.20 getShutdownPolicy | — | — | — |
| 2.2.21 setPowerRestoreDelay | — | — | — |
| 2.2.22 getPowerRestoreDelay | — | — | — |
| 2.2.23 setBmcInfo | — | — | — |
| 2.2.24 getBmcInfo | — | — | — |
| 2.2.25 setAuthKey | — | — | — |
| 2.2.26 setSensorLevel | — | — | — |

| コマンド | BMC (その他) | | iLO |
|------------------------------|-----------|-----|-----|
| | BMC | CMC | |
| 2.2.27 getSensorLevel | — | — | — |
| 2.2.28 getAgentExtensionLog | — | — | — |
| 2.2.29 testAlert | — | — | — |
| 2.2.30 getTestAlertStatus | — | — | — |
| 2.2.31 getServerStatus | ○ | ○ | — |
| 2.2.32 getPowerStatus | ○ | — | — |
| 2.2.33 getStatusLamp | ○ | ○ | — |
| 2.2.34 getPanelInfo | ○ | ○ | — |
| 2.2.35 powerOn | ○ | — | — |
| 2.2.36 powerOff | ○ | — | — |
| 2.2.37reset | ○ | — | — |
| 2.2.38 powerCycle | ○ | — | — |
| 2.2.39 shutdownOs | ○(*1) | — | — |
| 2.2.40 dumpSwitch | ○ | — | — |
| 2.2.41 clearSel | ○ | ○ | — |
| 2.2.42 identifyChassis | ○ | — | — |
| 2.2.43 getIpmiInfo | ○ | ○ | — |
| 2.2.44 getSensorList | ○ | ○ | — |
| 2.2.45 getSensorStatus | ○ | ○ | — |
| 2.2.46 getConsoleLog | ○ | — | — |
| 2.2.47 setBmcIpSync | — | — | — |
| 2.2.48 getBmcIpSync | — | — | — |
| 2.2.49 getBladeSlotId | — | — | — |
| 2.2.50 deleteBmcUser | — | — | — |
| 2.2.51 getBmcUserList | — | — | — |
| 2.2.52 setBmcUserInfo | — | — | — |
| 2.2.53 getBmcUserInfo | — | — | — |
| 2.2.54 setPowerRestorePolicy | ○ | — | — |
| 2.2.55 getPowerRestorePolicy | ○ | — | — |
| 2.2.56 getSystemFtLamp | — | — | — |
| 2.3.1 getEmCardList | — | — | — |
| 2.3.2 getEmActiveState | — | — | — |
| 2.3.3 identifyEm | — | — | — |
| 2.3.4 getEmStatusLamp | — | — | — |
| 2.4.1 getBladeEnclosureList | ○ | ○ | — |
| 2.4.2 getChassisSlotState | ○ | ○ | — |
| 2.4.3 getChassisInfo | ○ | ○ | — |
| 2.4.4 setChassisProperty | ○ | ○ | — |
| 2.4.5 getChassisProperty | ○ | ○ | — |
| 2.4.6 setBladeAutoSetting | — | — | — |
| 2.4.7 getBladeAutoSetting | — | — | — |
| 2.5.1 connect | — | — | — |
| 2.5.2 disconnect | — | — | — |
| 2.5.3 getConnectionStatus | — | — | — |

(*1) 強制シャットダウンのみサポートしています。

.....
ヒント：

- 未サポートのグループ管理系コマンドを実行する場合は、"/exs"オプションを使って上記コンポーネントにコマンドを発行しないようにしてください。
-

ESMPRO/ServerManager Ver.6
ユーザーズガイド
コマンドラインインターフェース

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2019

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。